

撫子ちゃんにキレカスを舐めさせて ゲーム専用が口便器にしてみました

あるところに、千石撫子というかわいい女子 ■ 学生がいました。

撫子ちゃんには『暦お兄ちゃん』という好きな人がいるのですが
どうやら『暦お兄ちゃん』は『変態』さんらしいのです。

そこで貴方は、撫子ちゃんを騙し助けて

自分好みの『暦お兄ちゃん』好みの変態 ■ 学生になれるよう

調教訓練することになりました。

自己紹介、ですか？

あの、えっと、撫子は千石撫子といます。

暦お兄ちゃん好みになるため、

お兄さんに訓練してもらったことになりました。

がんばります。ごめんなさい。

どうもありがとっねー。それじゃ、これ読んでくれるかな。

こっぴつこっぴつとは気分を盛り上げるのも大事だからね。

はい、分かりました。え、ええと……ええ？ えええ！

あ、あの、あのあのー！

ん？ どうしたの？

ここに書いてあること本当に読むんですか？

今でもすごく恥ずかしいのに、もっと恥ずかしいです……。

大丈夫。暦お兄ちゃん……だっけ？

彼のこと、とってもよく知ってるから。

秘密にして誰にも言わないけど

それ彼の趣味と真ん中なんだよ。

安心して全部任せてくれていいから。

そんなことより、ほら読んで読んで。

あうう……。わ、分かりました……。それじゃ、ええと……。

『撫子は、汗とおしつこの臭いで蒸れた何日も洗っていないチンポを

おしやぶりするのが大好きな変態 学生です。』

撫子のお口から出る息が、チンカスとザーメンの臭いになるまで

チンポお掃除とザーメンごっくんをさせてください。

よろしくおねがいします』

うう、恥ずかしいよう……。』

それじゃ、まず臭いをかいでみようか。

あ、それはチンポって言うんだよ。ちゃんと覚えてね。

はい、チンポさんですね。分かりました。

臭いかいでみます……スンスン……うっっ！

ふんっ

とつても酸っぱい臭いがします……。

それに、なんか毛のところからすごく汗のにおいが
むわって上がってます……。

撫子ちゃんは曆お兄ちゃん好みの変態 学生になるんだから

この臭いが大好きにならないとね？

深呼吸して、もっとかいでいらん。

は、はい……。

スー……ン……ん……はあ……。ン……はあ……。

チンポが生暖かくて汗の酸っぱい臭い一杯で
すごいくらぐらしします……。



それじゃあ、皮の先っぽ啜えて吸ってみようか。
やってくれたら、きっと曆お兄ちゃんも大喜びするよ。

わ、分かりました……。

曆お兄ちゃんが喜んでくれるなら撫子、がんばって吸います。

ん……ちゅ……んっ……んんっー？

えほっ、えほっ！

ダメだよ、臭いとか味がキツくても口離しちや。

それに、変態 学生は、この臭いと味が大好きなんだよ？

たくさん吸わせて、ちゅうちゅうさせてっってお願いなまきや。

あ……、そうでした。ごめんなさい。

えっと、撫子は変態さんなので、チンポの臭いと味が大好きです。

だから、たくさんちゅうちゅうちゅうちゅうさせてください。

よくできました。それじゃ、ほっ……っ

は、はい……。

ん……ちゅうちゅうっ、ごほっ……んちゅっ、ちゅっ、

ちゅうちゅう……。



……あー気持ち良かった。

撫子ちゃん変態の才能あるよ。厩お兄ちゃんと相性ぴったりだね。

本当ですか！ えへへ、嬉しいな。

次からはちょっと大変になるけど、撫子ちゃんなら大丈夫。
皮を剥いてごらん。

分かりました。んしょ……んつつー！？

ん、す、すごい臭いです……。

それに、チンポさんに白っぽくて黄色っぽいのがたくさん……？

それはチンカスって言うんだ。チ・ン・カ・ス。

味はキツめだけど、厩お兄ちゃんは

そんなチンカスを美味しそうに食べる変態が大好きなんだ。

撫子ちゃんには変態の才能があるから、

がんばって慣れれば、きっと美味しく食べられるようになるよ。

はい、撫子、チンカスが美味しくなるまで

がんばって食べます！

うんうん、たくさんチンカス食べさせてあげるから、
撫子ちゃんもがんばって食べてね。



チンカスを舐め取って食べることを『チンカス掃除』っていうんだ。
厩お兄ちゃんは『チンカス掃除』をしてくれる変態がいいんだって。

撫子、チンカス掃除大好きな変態さんになります!!

そのためには経験積まないと。

舌でチンカスをこそぐよように……うう、そう、上手い上手い……。

れる……ん……。

舌がぴりぴりします……。

それに、臭いがキツいです……。鼻の奥に……突き刺さるみたいで……。

何回もやっていればそのうち慣れるよ。

くびれたところは特に念入りにね……。

はい、撫子、がんばってチンカス掃除します。

んえ……。えろ……。れる……。

すじい、んじい、うっはい……。ねちよねちよしたのが出てきて……。

こほっこほっ、とつても臭いです……。

ねろ……。れる……。



撫子ちゃんがチンカス掃除してくれたおかげで綺麗になったね。
どれくらいチンカスがとれたか、舌を出して見せて。

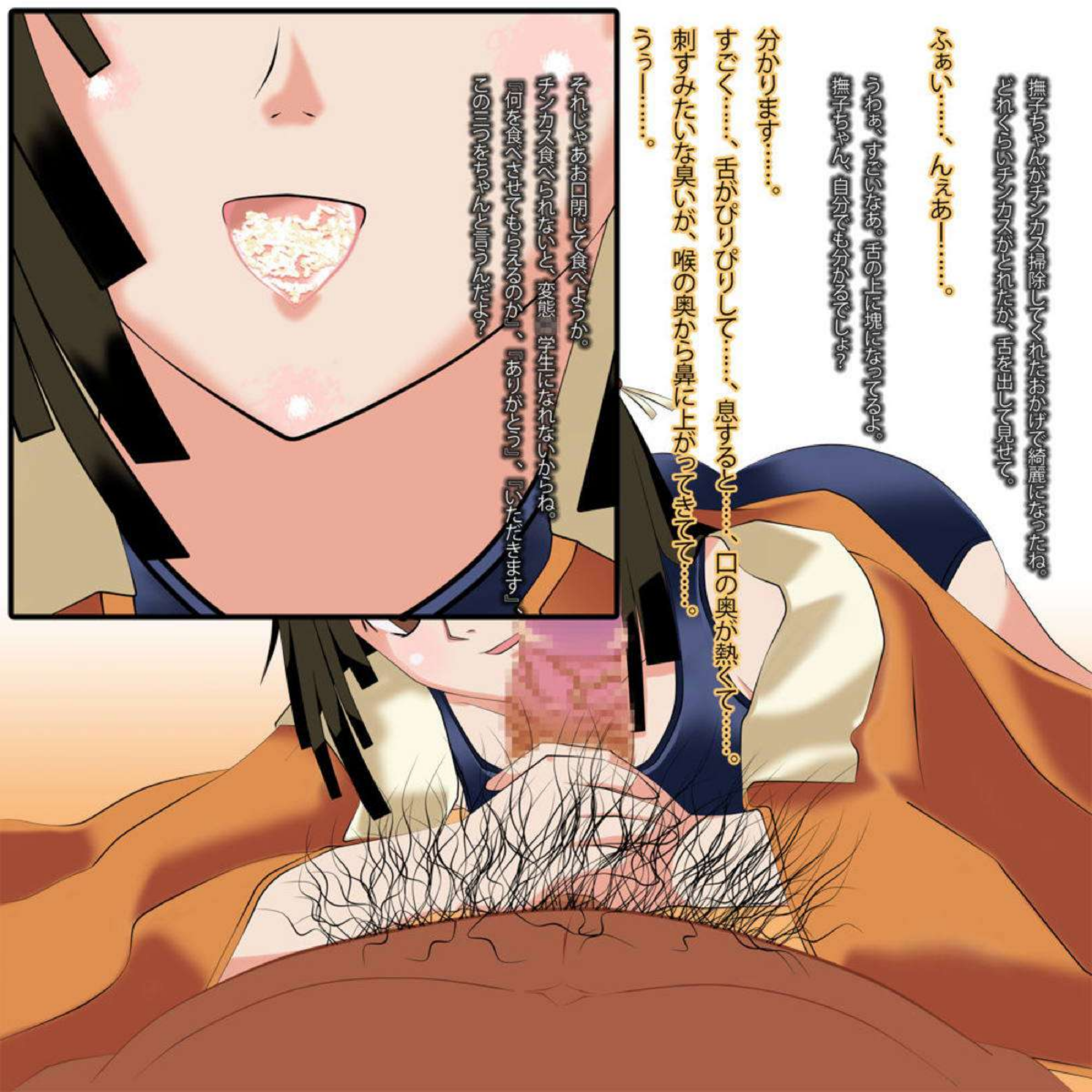
ふあい……、んえあー……。

うわあ、すごいなあ。舌の上に塊になってるよ。
撫子ちゃん、自分でも分かるでしょう？

分かります……。

すごく……、舌がぴりぴりして……、息すると……、口の奥が熱くて……。
刺すみたいなお臭いが、喉の奥から鼻に上がってきて……。
ううー……。

それじゃあお口閉じて食べようか。
チンカス食べられないと、変態 学生になれないからね。
『何を食べさせてもらえるのか』、『ありがとう』、『いただきます』
この三つをちゃんと言うんだよ。



撫子は、これからチンカスを食べます。

お兄さん、チンカス掃除させてくれてありがとうございます。
いただきます。

お口の中で、唾と混ぜ合わせるのが作法だからね。

よだれに溶かし込んで、よく味わって食べるんだよ。

ん……、うんう……、ぐしゅ、ぐちゅ……。

(鼻の奥がツーンっとする、歯がぬちゃぬちゃする……)

チンカスを混ぜ混ぜしている音と、飲み込む音は、ちゃんと聞こえるようにね。

曆お兄ちゃんは、そういう変態さんみたいなのが大好きだから。

うむ……んう……、ぐしゅ、ぐしゅ……。

(口の中が臭い唾でいっぱい……よだねほしゅちゅ……)

チンカス味の唾がたくさんできたね。

それじゃ、飲んで。

ん、うぐ、ごくん……、うぐ、んん……。

(すごい臭い……一回じゃ飲み込めない……)

んぐ、んく……、うぐ、んん……。



チンカス、全部食べられたみたいだね。
残していないか、舌をべーっつてして見せてごらん。

は、はい……。んえー！

よしよし、綺麗に無くなっている。

口の中もチンカス臭くなって、立派な変態学生だね。
曆お兄ちゃんも感じすると思うよ。

ほんとですか。嬉しいです。やったー！



チンカス掃除してもらったし、次はサーメンをどっくんしようか。
撫子ちゃんのおかげで、新品チンポみたい綺麗になったしね。

スン、スン……。そうですね、撫子の唾の臭いしかしません。
チンカスがぜんぜん無いチンポさんです。

今の撫子ちゃんのお口はチンカス臭しかしないけどね(笑)

だって、曆お兄ちゃんはそういう変態さんな 学生がいいって、
お兄さんがそういう言うから、撫子は……。

ああ、そうですね、その通り。

曆お兄ちゃんは、口からチンカス臭がする変態 学生大好き。
だから安心していいよ。

ほっ……、よかったです。ごめんなさい。



まず、挨拶から覚えようか。はい、これ読んで。

ええと……

『撫子は、精液大好き変態 ■ 学生です。』

チンカス臭いお口でお兄さんのチンポをおしゃぶりますから、

撫子をザーメンミルク処理用お口便器にしてください』

……撫子、おトイレじゃないです。

そこは気にしない。盛り上げるための言葉だから。

で、やり方は、チンポの先を咥えて、そっそっ……。

そしたら、口の中で舐めながら、ときどき吸い上げる。

れる……んろ……、ちゅっ、ちゅっ……。

こんな感じですか？

撫子ちゃん、変態の才能があるだけあって初心者なのに上手だね。

しばらくチンポのおしゃぶりを続けていけば、ザーメン出てくるから。

いっつまでお口からチンポ離しちゃ駄目だよ。

ふあい、分かりました。

えろ……、んちゅ、れるれる……、ちゅ、ちゅ……。



うっ、そろそろNEEとっ……。

学生の、口で、うっ、俺のサーメンっ……。

れる……んろ……、ちゅっ、ちゅっ……。

えろ、れる……、ちゅっ、ちゅっ……。

ん……、ちゅぽっ、れる……。

撫子ちゃん、サーメン出るよ……！

チンカス臭い撫子ちゃんの口で、うっ、出るっ！

んん？ んうー？

駄目、まだお口離さないで、全部出るまで、

うっ、うっ……。

う、んんぐう、ん……。

ふっ……。全部、出た……。口離してもいいよ、撫子ちゃん。

あ、でも中のサーメンこぼさなようにね。



ふう、今日はいいお天気じゃないか。

撫子ちゃん、お疲れ。

んん！？ ん、ん！

どうしたの？ あ、お口をぬるのをどうするかって？

ん、ん！

まだ訓練は始まったばかりだし、まずザーメンに慣れないといけないよね。

……うん、じゃあそれはお家に帰るまで、ずっと口の中に入れておこうか。

んうー？

厩お兄ちゃん好みの変態。学生になるんでしょう？

だったら、がんばらなきゃ。

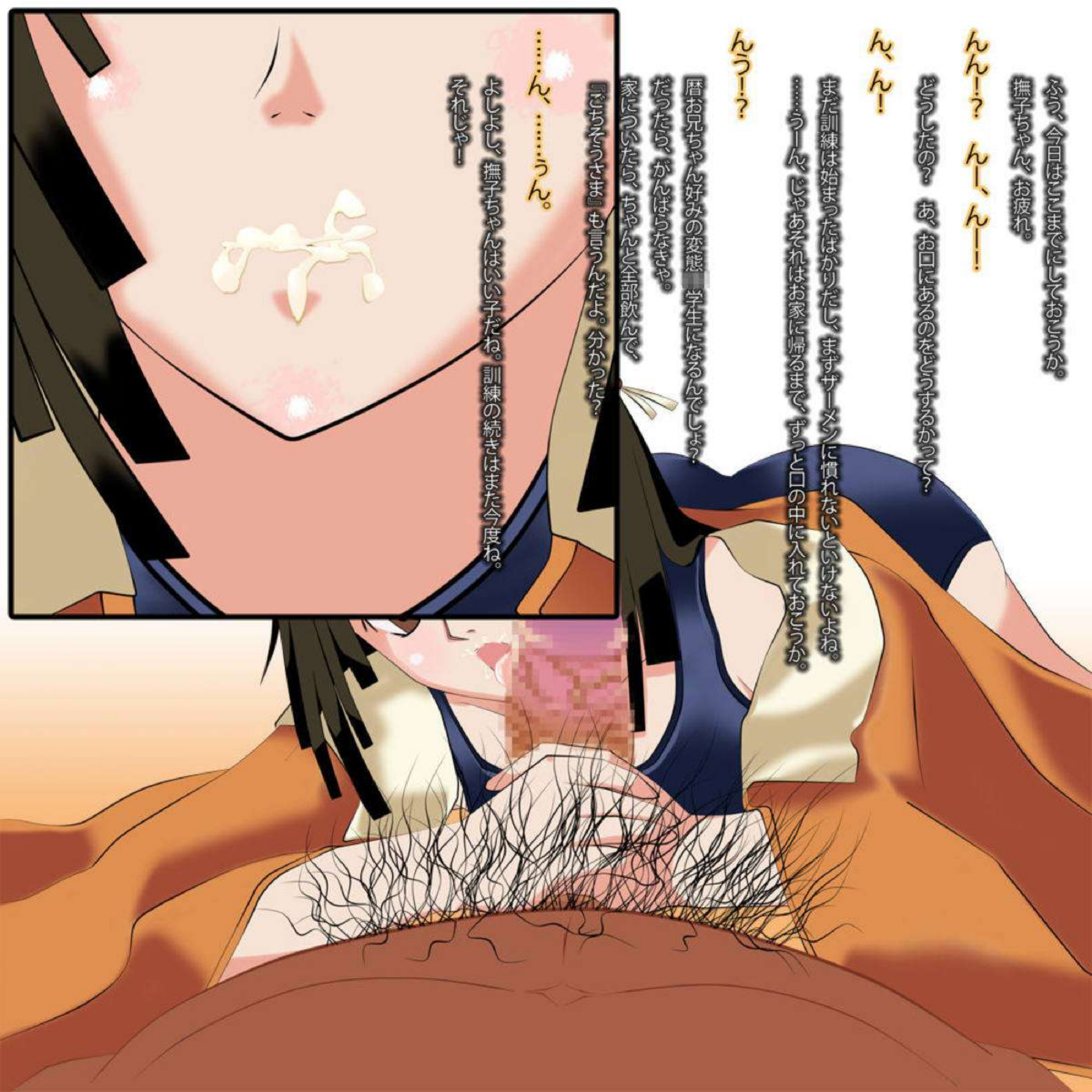
家についたら、ちゃんと全部飲んで、

『ごちそうさま』も言うんだよ。分かった？

……ん、……うん。

よしよし、撫子ちゃんはいいい子だね。訓練の続きはまた今度ね。

それじゃー





今日はチンカスの訓練をやるわ。

慣れるまで大変だと思っけど、チンカスを美味しく食べられないと
曆お兄ちゃん好みの変態。学生にはなれないからね。

撫子、がんばってチンカス食べます！

チンポには剥けチンポと皮チンポの二種類があるんだけど、

撫子ちゃんが好きになるのはこういう皮チンポね。

剥けチンポさんと皮チンポさん……ですか？

うん。皮チンポの方が臭いチンカスたつぷりだから、

撫子ちゃんはどうちが好きか聞かれたら、皮チンポって答えるんだよ。

あ、皮チンポは包茎チンポとも言っから、覚えておいてね。

まず、皮チンポの先に唾をたくさん塗り付ける。
ぬるぬるのべとべとになるまでするんだよ。

はい。

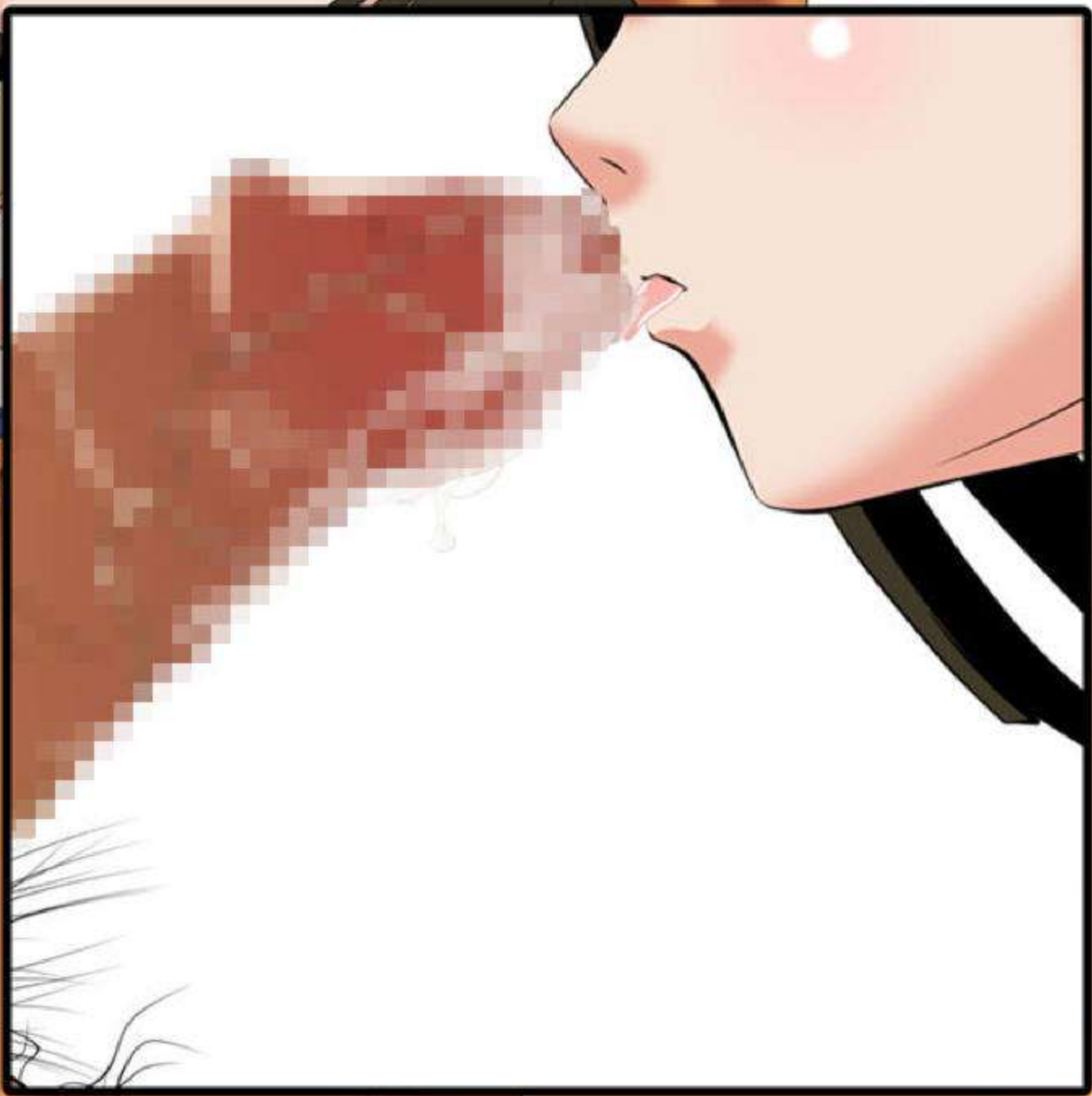
ん……ぬる、べちよつ……、じゅ、ぶちゅ……。
んあ……、れる……れる……、べちよ……。

口の中で唾を溜めはさるじゅ
垂れ落ちるくらいたくさんへろへろするんだ。

ん……もぐ……ぐちゅ……。

んえあ……、えろお……べちよお……。

んむ……ん……、れるお……、えれる……。



唾でぬるぬるになったら、皮を剥いて……。

ほら、チンカスいっぱいあるね。

んぐっ、んく、臭いです……。

鼻の奥に突き刺さるみたいなお臭いで……、んっ……、でも我慢します。

この臭いが好きじゃないと、曆お兄ちゃんがっかりしちゃうんですよね？

そっだね、曆お兄ちゃんも撫子ちゃんみたいなかわいいらしいに

チンカスを食べてもらえないとなると、悲しいと思うよ。

そうですね……。……くんくん、んぐっ。

んう……、すんすん、うっう……、すう……んっ、んっ、んっ。



撫子ちゃんがやる気なら、ちょっと大変かもしれないけど
いい特訓方法があるよ。どうする？ やってみる？

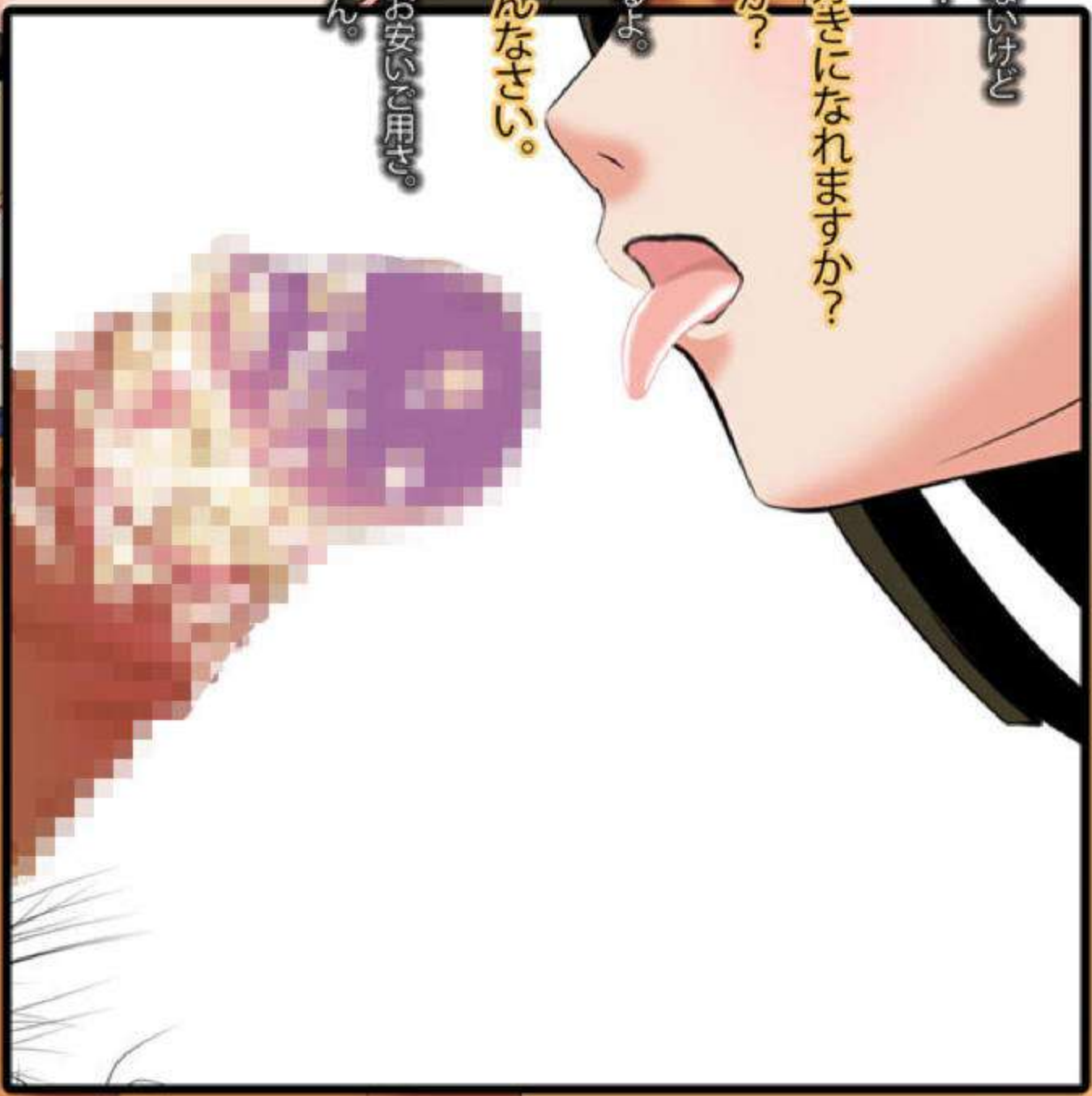
その特訓をすれば、撫子でもチンカスさん好きになれますか？
チンカスさんを食べられるようになりますか？

俺を信じて全部言う通りにするなら、きっとなれるよ。

わ、わかりました……。お願いします、ごめんなさい。

撫子ちゃんを立派な変態 学生にするためだからお安いご用や。
じゃあ、お口を開いて舌をんべえーって出してごらん。

はい……。んえあ……。……。



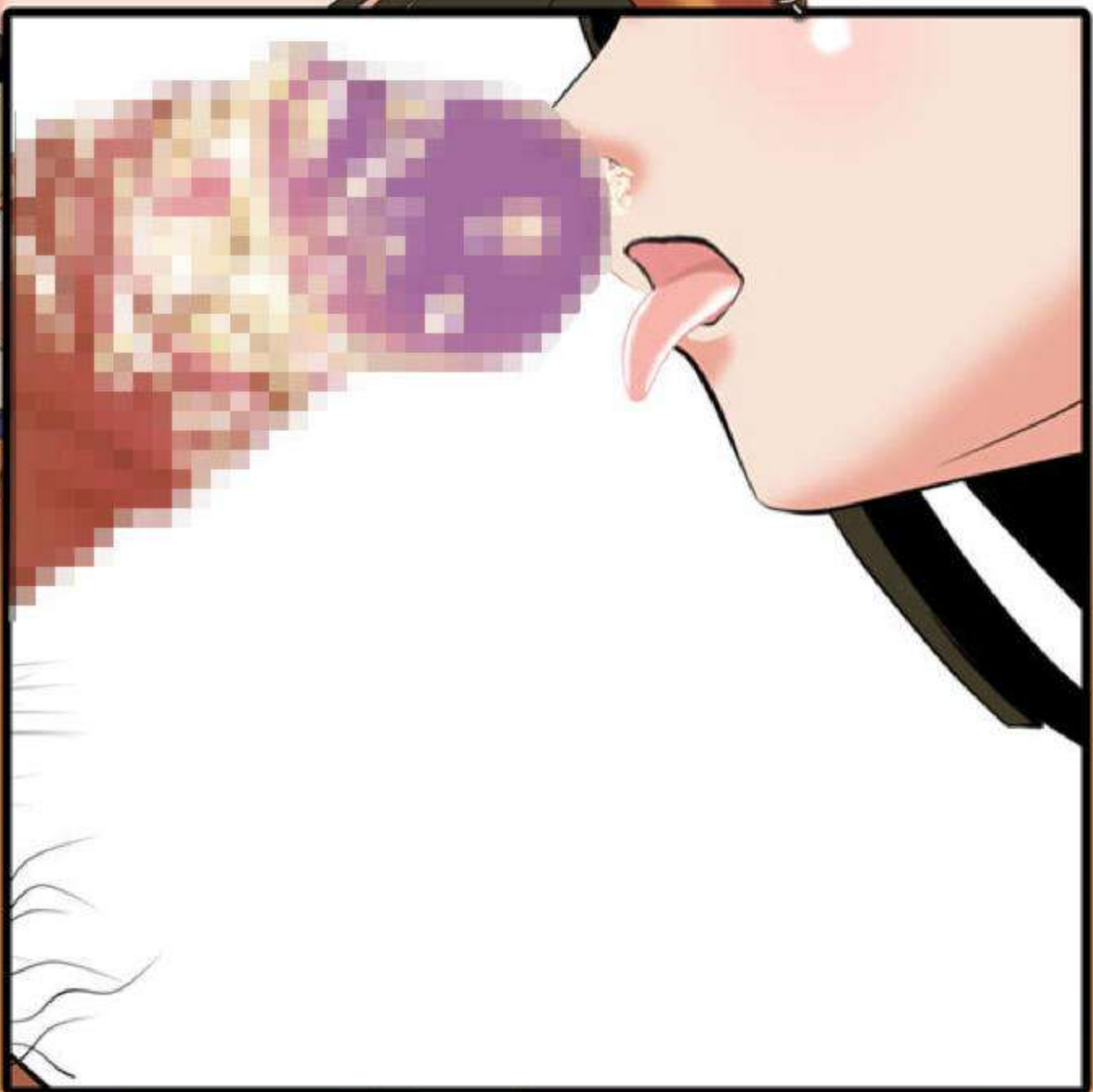
ん、……んう？ ふ、ふぐうっ！？

こっやって、鼻にチンカスを擦り付けておけば
ずっと臭いと一緒でしょ。

ちよつと大変でも、チンカス臭に慣れるためだから
撫子ちゃん、がんばって、ね。

……う、ふ。……んぐっ、ふうっ！

……ん、ぶ、んぶっ！



ちっちゃな鼻の穴が臭いチンカスで白くなったね。
まだ残っているチンカスは、舌とお口に擦り付けるよ。
ほら、舌伸ばして。

ん、んべえ……。

学生の、ピンク色した舌が、白くなるように、
臭いチンカスを擦り付けて、口の回りにも……。
ほら、撫子ちゃんも、舌を押し付けるようにして、
そっぞっ、うっ、うっ……！

うっ、うっ、うっ……、んぐっ、うっ……。
えろ……、んっ、えぶ……、んぐっ……。



ふっ……。あれだけチンカスマみれだったチンホも綺麗になった。

……うわあ、撫子ちゃん、また 学生なのに、すごいチンカス臭い顔だね。

うう、口からも鼻からも、ツーンとした臭いがして、
すごく臭すぎて、なんだからクラクラしまふ……。

特訓だからちよつとキツイのは仕方がない。

今日はここまでにしておこうか。

帰り道ではなるべく鼻から息をするようにするんだよ。

舌に乗せてあげたチンカスは、

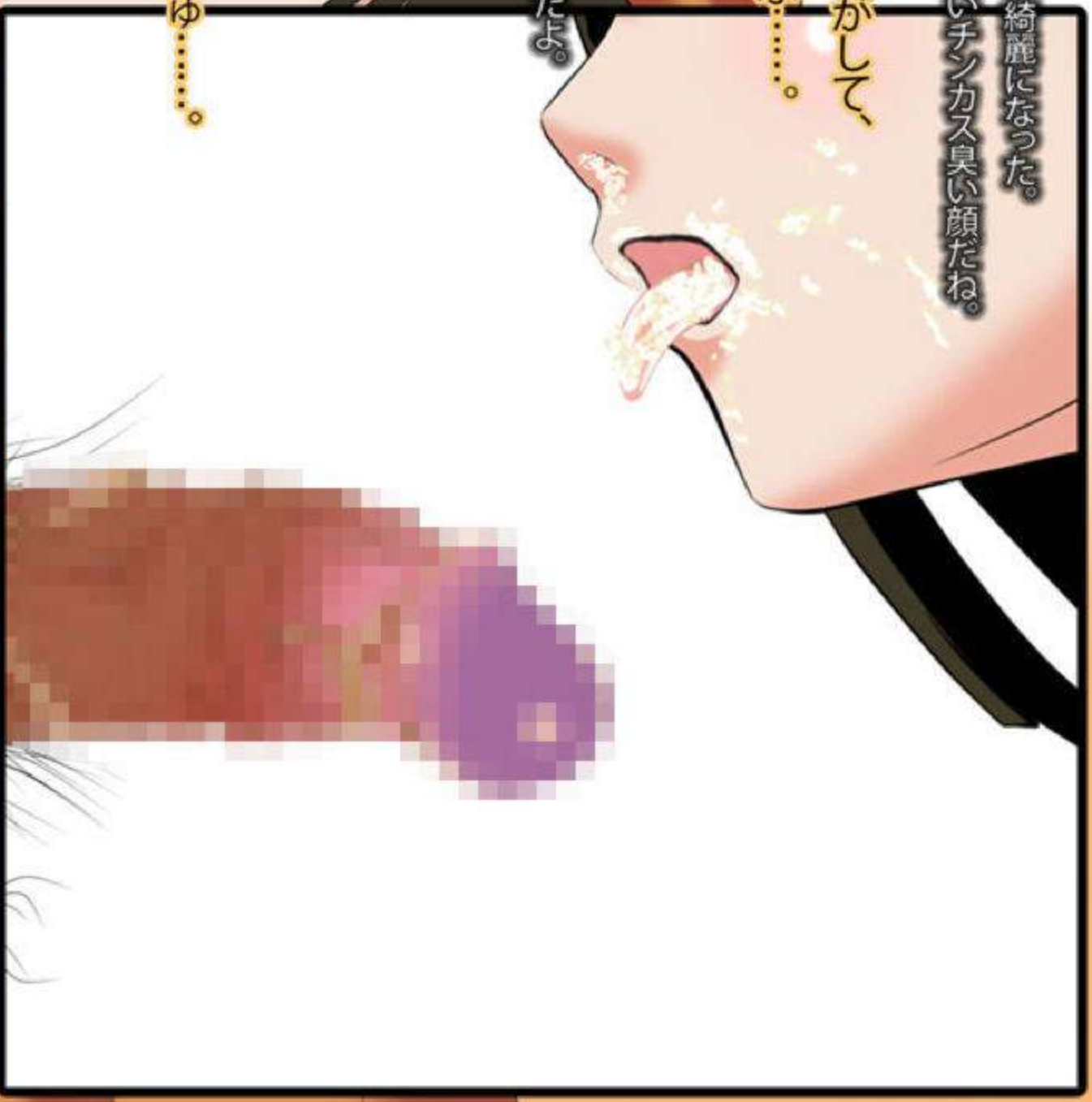
家につくまで口の中でよく噛んでね。

そうすれば、早くチンカスを好きになれるからね。

ふあい……。ありがたう……。ありがとうございます……。

……。んぐじゅ、ぐじゅ……。じゅるっ、うじゅ……。。

……。



今日はサーメンの特訓をするよ。

曆おろちゃんのためにもサーメンを美味しく食べられるようにならないとね。

はい、よろしくお願いします。

そっとうわけで、今日はチンカス掃除はとぼして、チンポしゃぶりからね。

ありがとうございます、ごめんなさい。

撫子、がんばってチンポをおしゃぶりしますから
たくさんサーメン出してくださいね。



くびれたところから先を舌でへるへるしてみても、
全体的に舐め残しがないようにするんだよ。

うえろ……れる、れる……、へろ、んえろ……。
ねろ、れる……、ちゆ、ちゆっ、ねろ……。

うっ、そうやってときどき吸ったりするんだよ。

撫子ちゃん、チンポしゃぶり上手だね。曆お兄ちゃんがうまうましているよ。

えへへ、ありがとうございます。

ちゆ、ちゆ……れる……えろお……。

ぺちよ、ぬろ……、ぬちゆ、ぢゆ、ちゆり……。

じゆるっ、じゅう……じゆるお……。



次は、先端の割れているところの穴を、舌先でほじるように……。
うっ、そうそう……。

吸い付いたりもするともっといいよ……。

んん、んじゅ……ん、んじゅですか……？
れる、へろ、んえろ……。
ちゅ、ちゅっ、ねろ……。

そう、撫子ちゃんはほんとにいい子だね。
全体をへろへろするのも一緒にやってみて。

んちゅ、ちゅ……ぬろ……ぬろお……。
れる、れる、ぬおろ……、ちゅう、ちゅうっ……。
んぬっ、のるっ……、ねあ、んぶあ、ぬろ、ねる……。



よし、くびれた部分を磨いてみようか。

舌先だけじゃなくて、横の部分も使うんだよ。

舌で、ごしごしすればいいんですね……。

んえ……、ん、えろ……、じゆる、じゅ……。

じゅちゅ、ねろ、れるお……。

はあ、はあ、は、反対側もやって。

ふあい……、ぬる……、んじゅお……。

れる、えろ……、ぢゅぶ、じゅるっ……。

んあ、んべあ……、ねろ……。



そ、そろそろ、サーメン出そう。

撫子ちゃんのお口に、サーメン出すよ。

口開けて、舌伸ばして……！

あ、は、はい。

撫子のお口に、サーメンいっぱい出してくださいます。
んあえー……。

出すよっ、撫子ちゃんのお口に、臭いサーメンいっぱい、
学生の口を、サーメン便器にしてやるっ！
う、うっ……！

あうっ、んうっ！

んん、んむっ、んぐっ……！



うん……ん……ん……ん……

変態 学生のお口便器にたくさん出たよ。

すっぴんちやい中じっはいにサーメンが溜まっているね。

うん……ん……。んんん……

ん……ん……ん……ん……

口の中、よーく見せてね。

うわ、顔を近づけるとサーメンの臭いがする。

口の回りにもサーメンが散ってて

すっかりサーメン便器の顔だね。

んんん……んんん……んんん……



それじゃあ、ザーメン食べようか。
お口閉じて、舌でかき混ぜるんだ。

歯とか頬の内側にもこすり付けるようにして、
そのときはしっかり音を立てるんだよ。

ん……、ぐちゃぐちゃ……。

ぐちゃぐちゃぐちゃ……、ぐちゃぐちゃ、ぐちゃぐちゃ……。

じゅん、じゅん……、ぱんぱん、ぱんぱん……。

ぐちゃぐちゃしてる音がよく聞こえる。

お口しっかり閉じてるのに臭いが漏れてきて、
どんどんザーメン臭いお口になっているのが分かるよ。

ん……、ぱんぱん、ぱんぱん……。

あらら、鼻からザーメンが出てきちゃったね。

でも、これも特訓のうちだから我慢我慢。



ごっくんする前に、お口の中を開けて見せるんだ。
ごぼせないように、あーんとしてごっくん。

うあ……、あーん……。

歯と歯の間にもサーメンが塗り込まれて、口の中で糸引いてる。
お口の中で混ぜ混ぜしたサーメンを舌に乗せてみて。
ごほしちや駄目だよ。

えあ……。じゅ……。れああ……。

唾とサーメンで泡ができてるよ。
どろどろのサーメン泡が弾けてる。
これなら今日はこの後ずっとサーメン臭いお口のままだね。
きつと、何を食べてもサーメンの味だよ。



よし、それじゃサーメンごっくんだ。

飲み込む音がよく聞こえるようにするんだよ。

ん……んぐんん……んぐんん……。
んっ……ごくん、ぐんん……。

唾で増えた臭いサーメンが、どんどん喉を伝っていくね。

ひくひくするたびに喉が動いって、撫子ちゃんへの胃に落ちて溜まりこんでるのが分かるよ。

ご……んぐん……んぐんん……んぐんん……。
んぐんん……んぐんん……んぐんん……んぐんん……ん。



飲み終わったら、ごちそうさま美味しかったです、って言うて、
お口を開けて、ちゃんと食べられたかどうか確認してもらったよ。
それがザーメン用お口便器の作法だからね。

ん……、ごちそうさまでした。臭いザーメン、美味しかったです。
ちゃんと全部食べたので、撫子のお口の中、見て確かめてください。
んあ……。

うん、綺麗に食べられたね。喉の奥からむわっとした臭いがする。
曆お兄ちゃんの好きな、ザーメン臭い息をした変態 学生だ。
きっと大喜びだよ。
……今日はここまでにしておっか。
撫子ちゃん、続きはまた今度ね。



前はチンカスとザーメンの訓練をしたから、今回はチン皮だよ。
曆お兄ちゃん好みの変態 学生になるために、がんばってね。

撫子、がんばります。よろしくお願いします。

いやいや、違つてしょ？

挨拶の仕方を教えてあげたじゃない。忘れちゃった？

あ、ごめんなさい。ちゃんと覚えてます。えと……

撫子は、汗とおしつこの臭いで蒸れた何日も洗っていないチンポを
おしゃぶりするのが大好きな変態 学生です。

撫子のお口から出る息が、チンカスとザーメンの臭いになるまで
チンポお掃除とザーメンごっくんをさせてください。
よろしくおねがいします。

次からはちゃんと言おうね。気分が盛り上がるから。

はい、ごめんなさい……。

まあ始めようか。

はい、変態な撫子ちゃんが大好きなチンポ。

先っぽに皮が余ってるよね。

指先でいじってみて。

ふよふよしてて、じつとリしてて、

あと、先っぽのこの臭い……。

スンスン……前の時に教えてもらったチンカスの臭いです。

うう……。

撫子ちゃんのために、お風呂でも洗わないでチンカス溜めてきたから、
今日もよろしくね。

はい、撫子、がんばってチンカス掃除するから、
曆お兄ちゃんにぴったりの変態学生にしてください。
よろしくお願いします。

うん、任せておいて。

そろそろ皮の感触にも慣れたらうし、指を皮の中に入れてみようか。

指を皮の中に……こうかな……。

わ、すごい。にちゃってしてて、チンカスの臭いも強くなりました。

皮を剥いて舌で掃除するのもいいけど、皮がふせたまま指で掃除してもうっのも

曆お兄ちゃんは好きなんだ。

チン皮の中をぐるぐる回るように動かしてみて。

はい……皮の中、熱くて、べちよってしてて、

指を動かすと一緒にぐにゅって動きます。なんか面白いかも……。

それじゃ、指先でキレイキレイしながら動かしますね。ごじごじ、ぐじぐじ……。

あ、指とチン皮の間から、チンカスさんが出てきました。

……んう、キツイ臭いです……。



指を抜いてみて。

うわぁ、べっぴんっぴんしてるね。そのチンカスをどっすれはいいか、分かるよねっ。

はい、えと、撫子、これからお兄さんのチンカスを食べさせてもらいます。お掃除させてくれてありがとうございます。いただきます。

ちゃんと挨拶覚えていたね。えらいえらい。

指を近づけると……う、く、臭いです……。

でも、がまんできそう。

い、いただきます。

ん……、んむ……。くちゅ、ちゅ……。

味はどう？

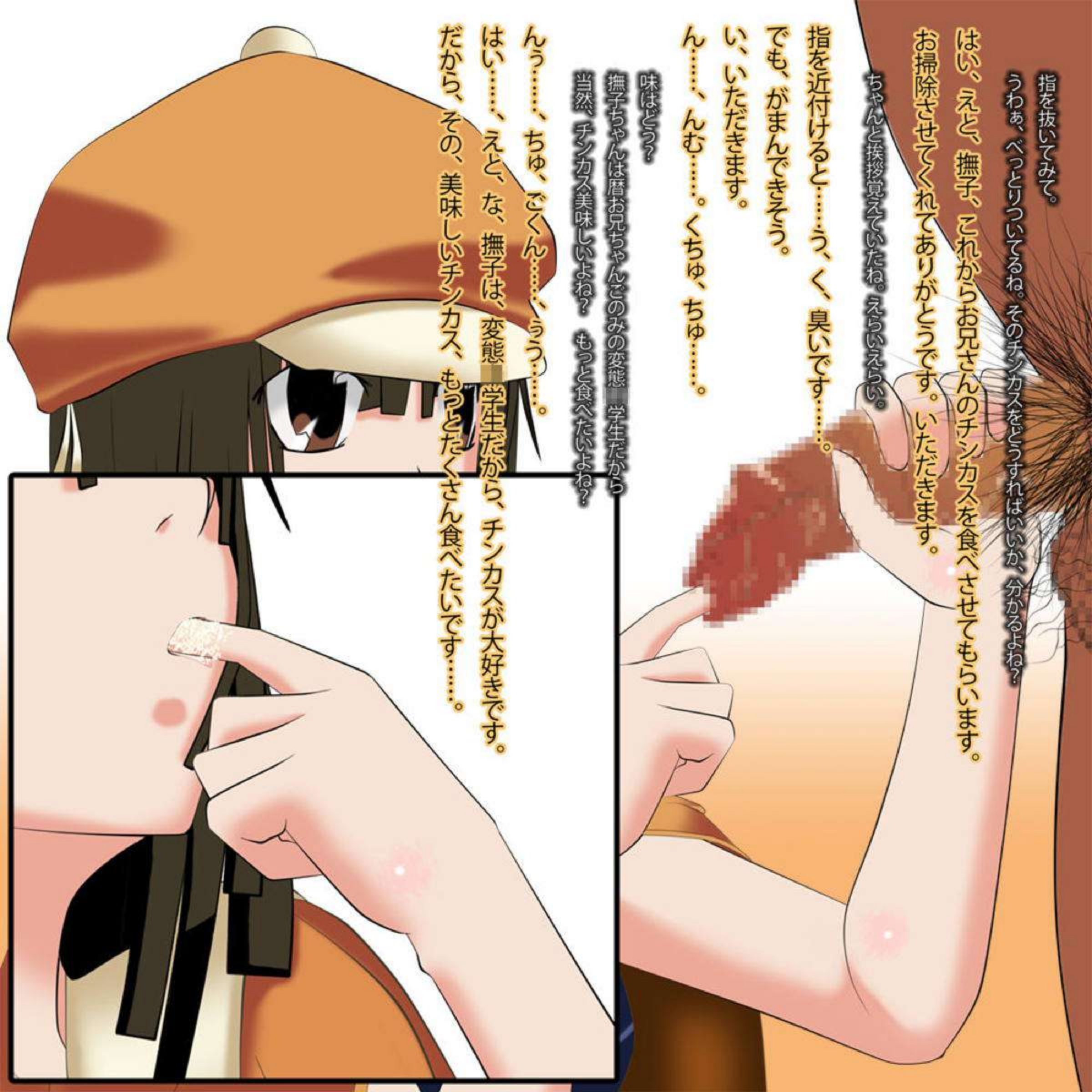
撫子ちゃんは曆お兄ちゃんごのみの変態。学生だから

当然、チンカス美味しいよね？ もっと食べたいよね？

んう……。ちゅ、ごくん……。うう……。

はい……。えと、な、撫子は、変態。学生だから、チンカスが大好きです。

だから、その、美味しいチンカス、もっとたくさん食べたいです……。



そっだよね、もっとチンカス食べたいよね。
チン皮を剥けば、たくさんあるよ。

わ、わかりました。チン皮、剥きますね……。

えと、えい……。うわ、臭くてべっとりしたのが、すびっすびっは……。えい……。

撫子ちゃんが厩お兄ちゃん好みの変態。学生に早くなれるように臭いチンカスをいっぱい溜めてきたんだ。嬉しいよね？

うう、撫子のために、く、臭いチンカス、いっぱい溜めてきてくれて、あ、ありがとございいます。

撫子は、その、とっても嬉しいです。

えとえと、撫子、がんばってお掃除するので

たくさん食べさせて、お口をチンカス臭くさせてください。

はい、よくできました。

チンカス掃除するときのお願いも、撫子ちゃんが考えた言い方でいろいろ工夫してくれると厩お兄ちゃんも嬉しいと思いつよ。

！ 撫子、お家に帰った後、

お願いの仕方をもっと考えてみます！

それじゃ、チンカス掃除始めようか。

はい、撫子、これからチンカス掃除させてもらいます。
ありがとうございます、ごめんなさい。
ん……、じゅ……。

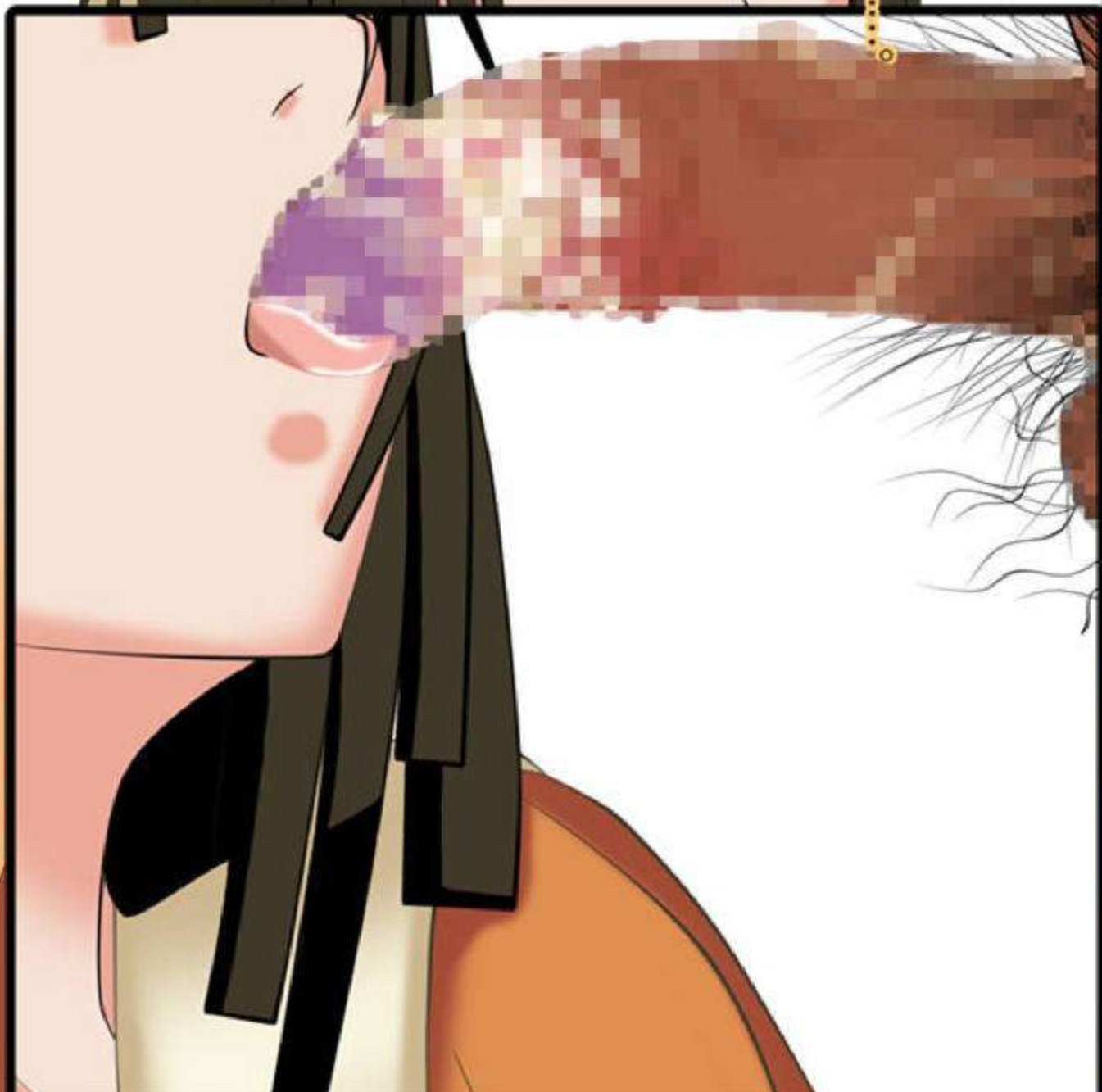
口に唾えたまま舌を出して、チンボを磨いてごらん。
ん……、上手だね、さすが変態 学生の撫子ちゃん。
曆お兄ちゃんも安心だね。

ん……、じゅ……、えへへ、れる、ねろ……。
じゅぶ、れるれる……、ぬろ……。

唾を塗りつけてチンカス溶かして、吸い込むようにするんだ。
なるべく音をたててやるようにね。

ふあい……。

じゅぶ……、じゅる……、ずずっ、じゅんぐ……。
れるれる、じゅろ……ずろおっ……。
んう……、えろ、んろおっ、じゅぶっ……。



チンポがすっかり綺麗になったなあ。
あんなにたくさんついてたチンカスは、全部撫子ちゃんのお口に移ったってことだね。
さすが撫子ちゃん、変態の素質があるよ。

ん……。

あ、掃除を止めないで、口に唾えたまま。
今日はお掃除したチンカスを見せなくてもいいよ。
口の中に残しておいて。

うう？ じゅぶ、ねろ、ねろ……。

れる……、ぬろ……。

これから、撫子ちゃんのお口にサーメン出すから。
それを、チンカスとよく混ぜ合わせるんだ。
分かった？

ん。

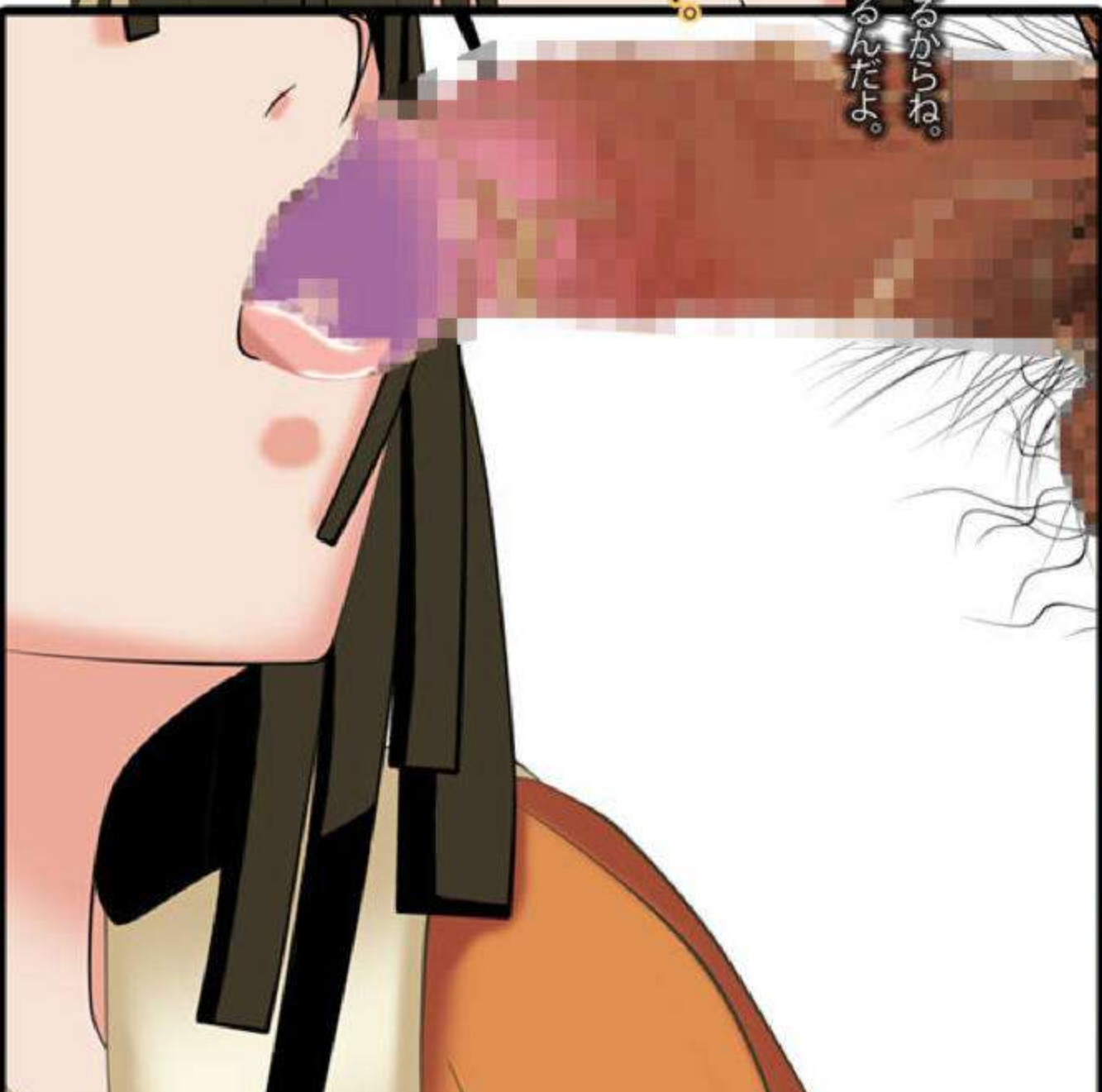
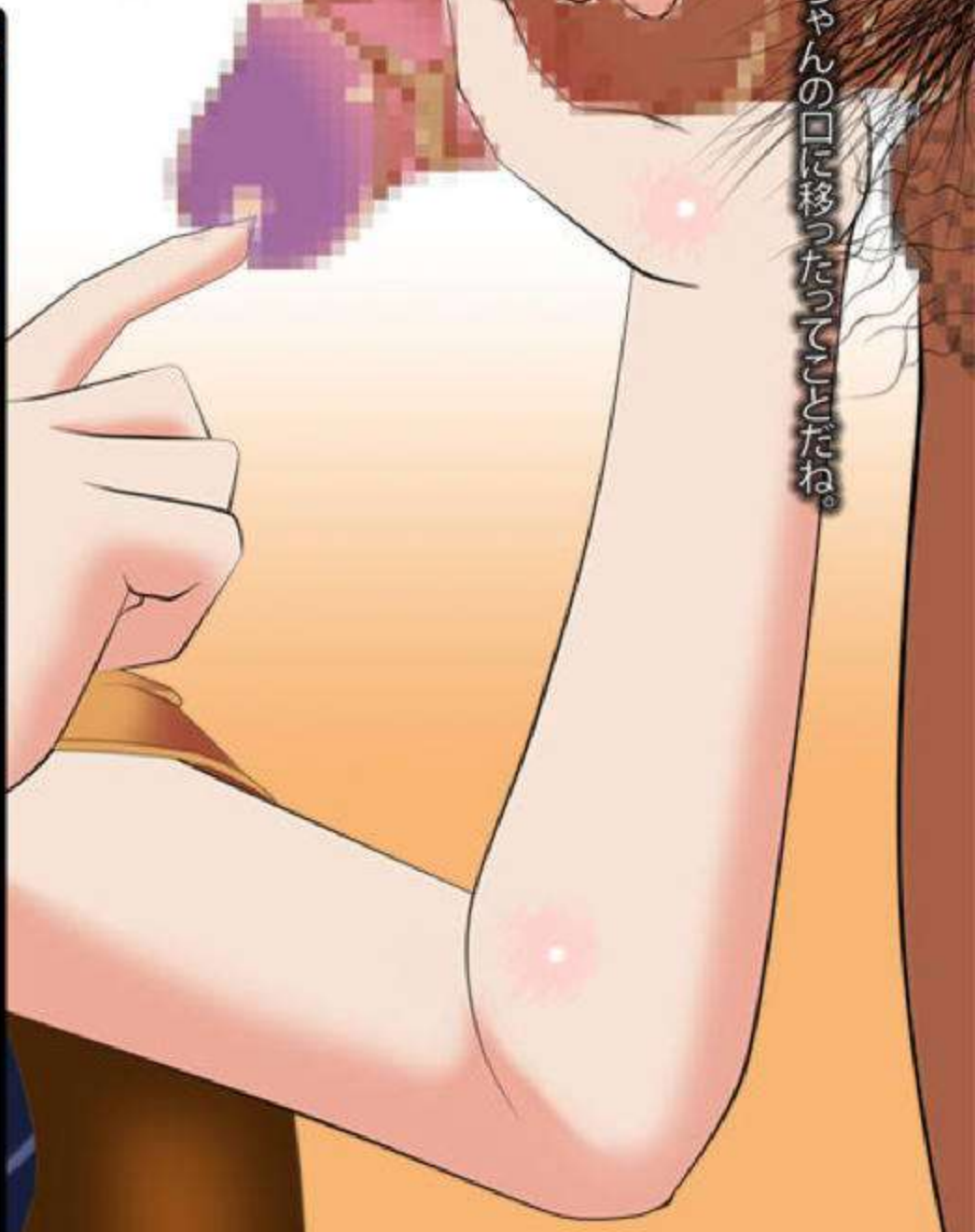
よしよし。撫子ちゃんがかんばった分、サーメン出るからね。
舌動かしたり、吸い付いてみたり、いろいろ工夫するんだよ。

うふう、じゆる……、ずるる……。

じゅぶっ、れるお……、ちゅっちゅんっ……。

じゆる……、えろ……、ずろおっ……。

ぬろおっ、ちゅっ……、れる、ぬろ……。



ふっ、ふっ、出るよ、サーメン出すよー

学生、チンカスマみれの口に、サーメン出すっ！

ん、んううー！ん！ん、ん……。

れる……、ねろ……

そ、そう、サーメン出きるまで舌動かしてね……

うっ、あああ……

ぬろ、ぬろお……。ぢゅ、ぢゅっっ……。

ああ、気持ちよかった……。

撫子ちゃん、チンポ抜くからね。

そしたら、お口の中のサーメンとチンカスを混ぜるんだよ。

ん、ちゅ、ん……。

……。

どうしたの？ほら、混ぜ混ぜしなきゃ。

んん……、じゅ、ぐじゅ……、ぐじゅん……。

んじゅ……、じゅぽ……。

ぐじゅ、ぐじゅ……、ちんぽん……。



よく混ぜられたかな。

お口を開いて中を見せてほしいん。

ん、んうえー……。

うわあ、チンカスとザーメンが混ぜられてぐちゃぐちゃになってる。

臭いもすごい立ち上ってて、撫子ちゃん、分かるでしょ？

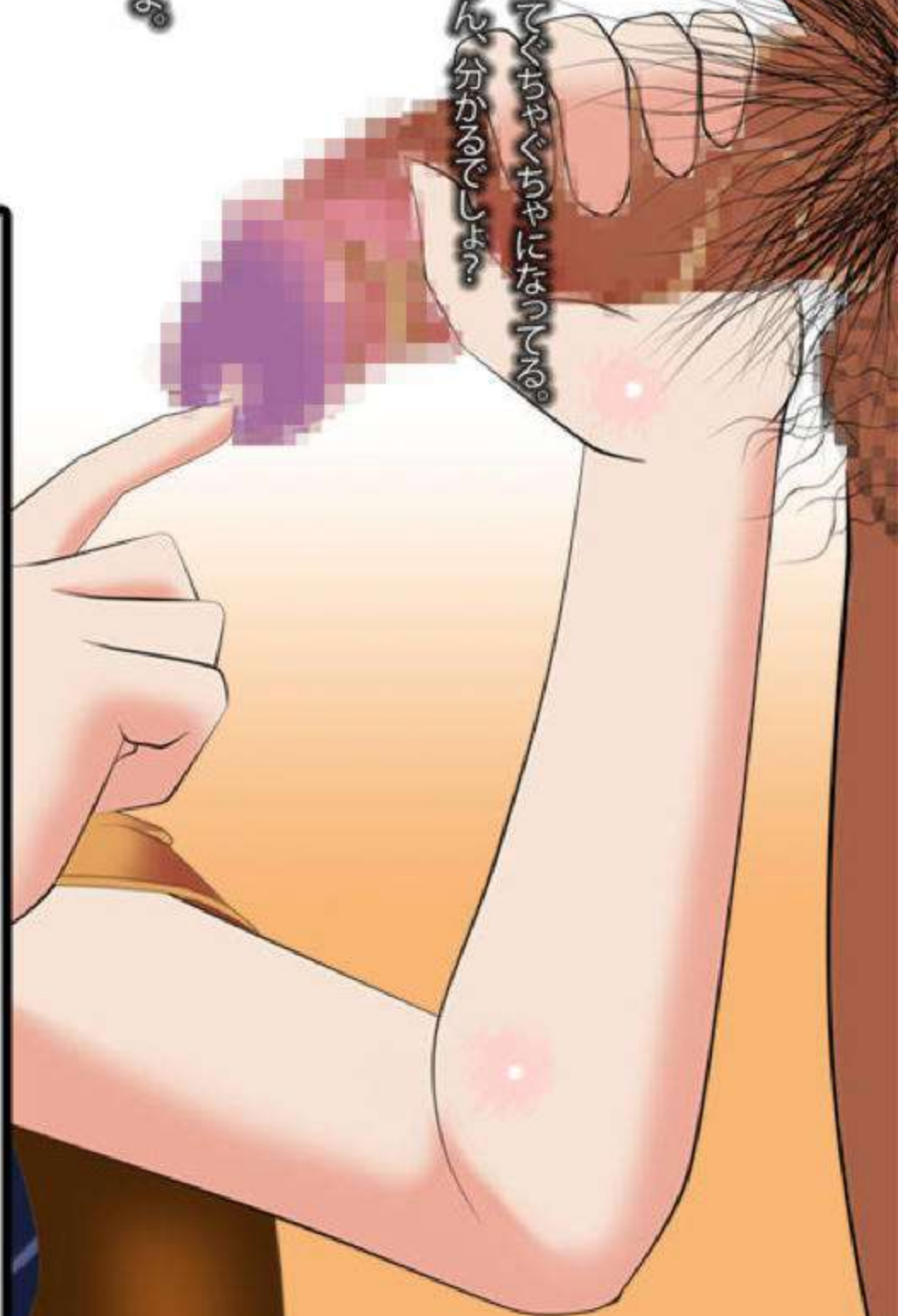
ん、んう……。

ふう、ふう……。

もっどこから見ても、変態。学生だよ。

暦お兄ちゃんがうらやましいなあ。

ん、んえへへ。



じゃあ、チンカスとザーメンのミックスミルクを飲もうか。
ひくくするときに音を出すの、忘れないでね。

ん。

……ん、ごくん、んじゅ……ん、ごくん……、
ん、んく、ん……、んく……。

撫子ちゃんの喉がザーメン飲む度に、ごくん、ごくん、って動いてる。
そんなの見せられたら、暦お兄ちゃんも、きつとたまらないよ。

ん、んっ……、ごくんっ。……ん、ん。

美味しいチンカスとザーメン、ご、ごちそうさまでした。

精液の臭いがするお口の変態。学生になれて、撫子、とんでも嬉しいですよ……。

ごちそうさまもちゃんとできて、撫子ちゃんはえらいなあ。

飲み終わったら、お口の中を見せると、もっというよ。

はひ、分かりました。

ん、んええー……。

口の中のザーメンが糸引いてるし、息もチンカス臭いし、
もっ、れっきとしたチンカスとザーメン処理用のお口便器だね。
さて、今日の訓練はここまでにしようか。
おつかれさま、続きはまた今度ね。

ありがとうございました……。

はふう……。

……。



あ、あの、お兄さん……、そちらの人たちは……？

ああ、曆お兄ちゃんのことよく知ってる友達でね。

撫子ちゃんのお手伝いに来てくれたんだ。

撫子ちゃんもチンカスとザーメンの臭いに慣れたらうし、
たくさんごつくんする練習をしないとね。

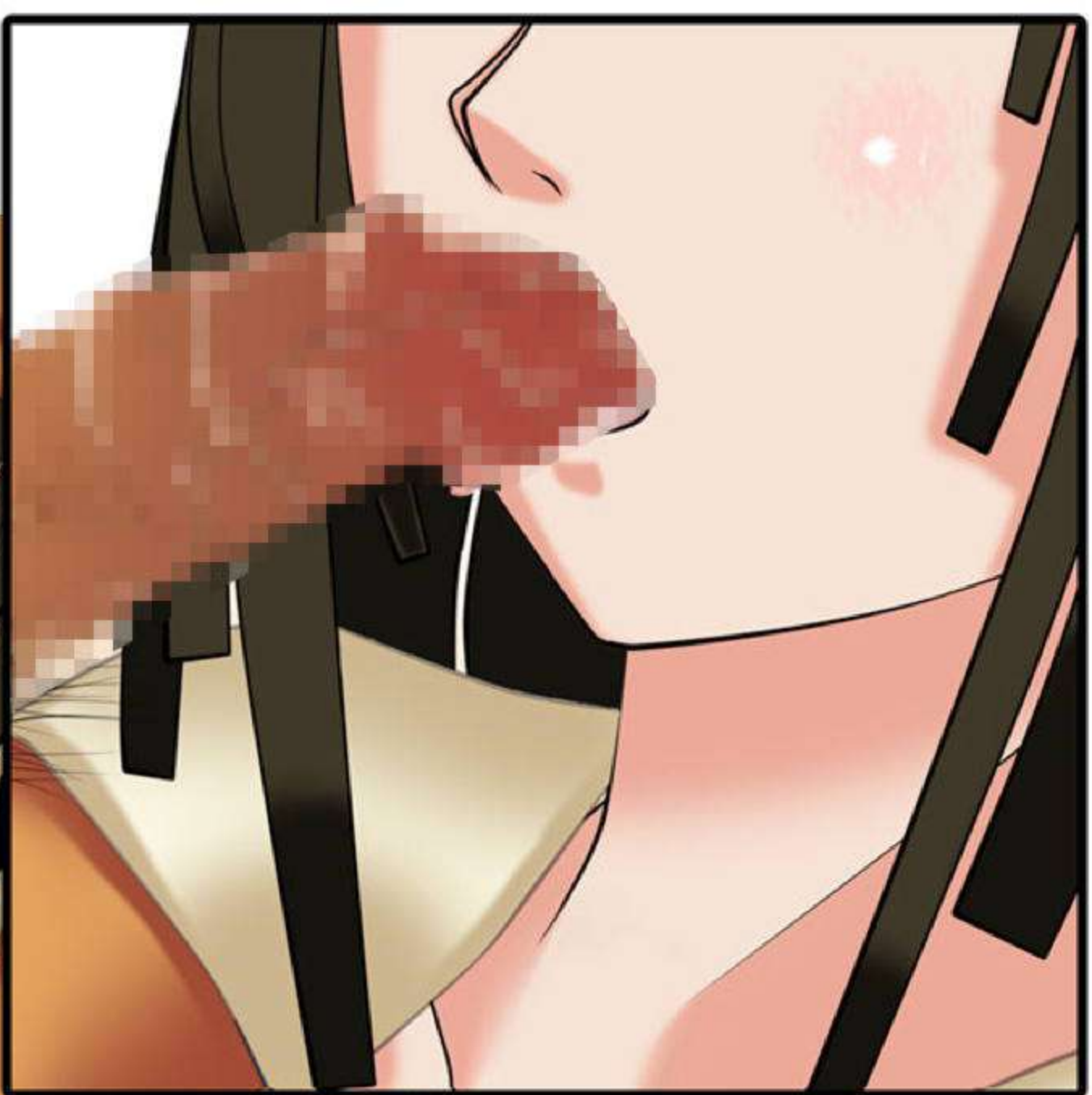
そっなんですか。ありがとうございます、ごめんなさい。
撫子、がんばります！

撫子ちゃん、ほら、挨拶。

あ、はい。えと……、

撫子は、汗とおしっここの臭いで蒸れた何日も洗っていないチンポを
おしゃぶりするのが大好きな変態 学生です。

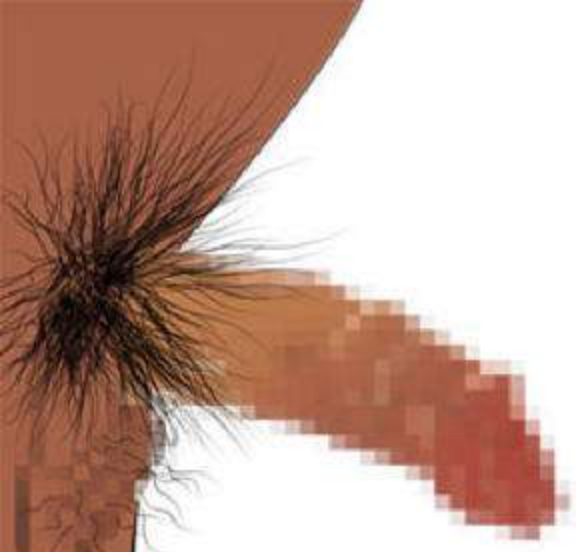
撫子のお口から出る息が、チンカスとザーメンの臭いになるまで
チンポお掃除とザーメンごつくんをさせてください。
よろしくおねがいします。

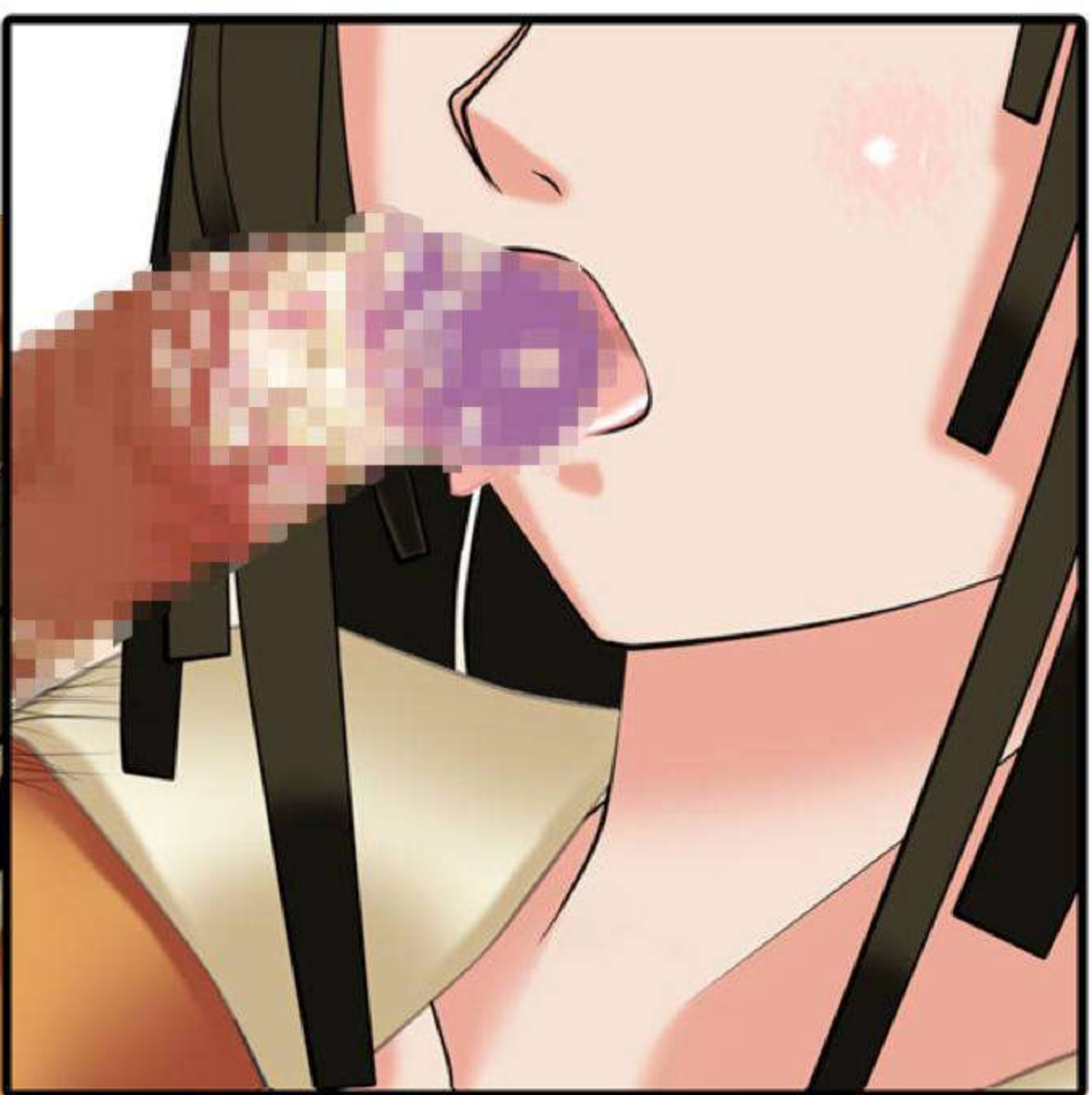


撫子、いっしょうけんめいチンポをお掃除しますから、
友達のお兄さんのチンカスたくさん食べさせてくださいね。
ん……ちゅ……、れろっれる……。

そうそう、まずはチン皮を啜えて
吸い上げながら口の中でよく舐めるんだ。

ん、ん……、ちゅ……、ちゅるっ、れろ……。
えろ、ぬろ……じゅ、じゅう……。

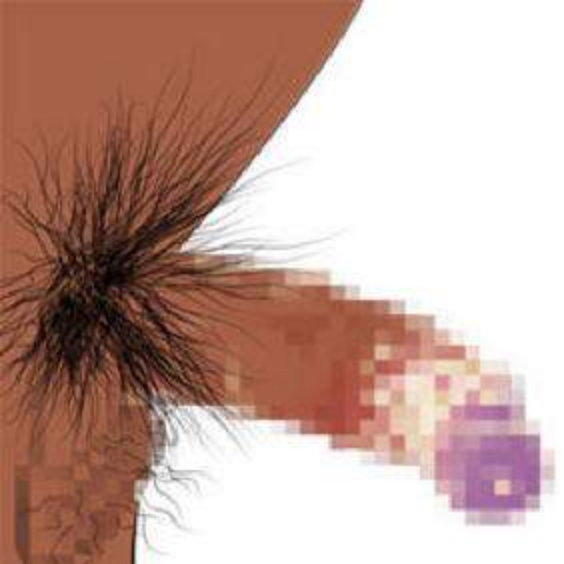


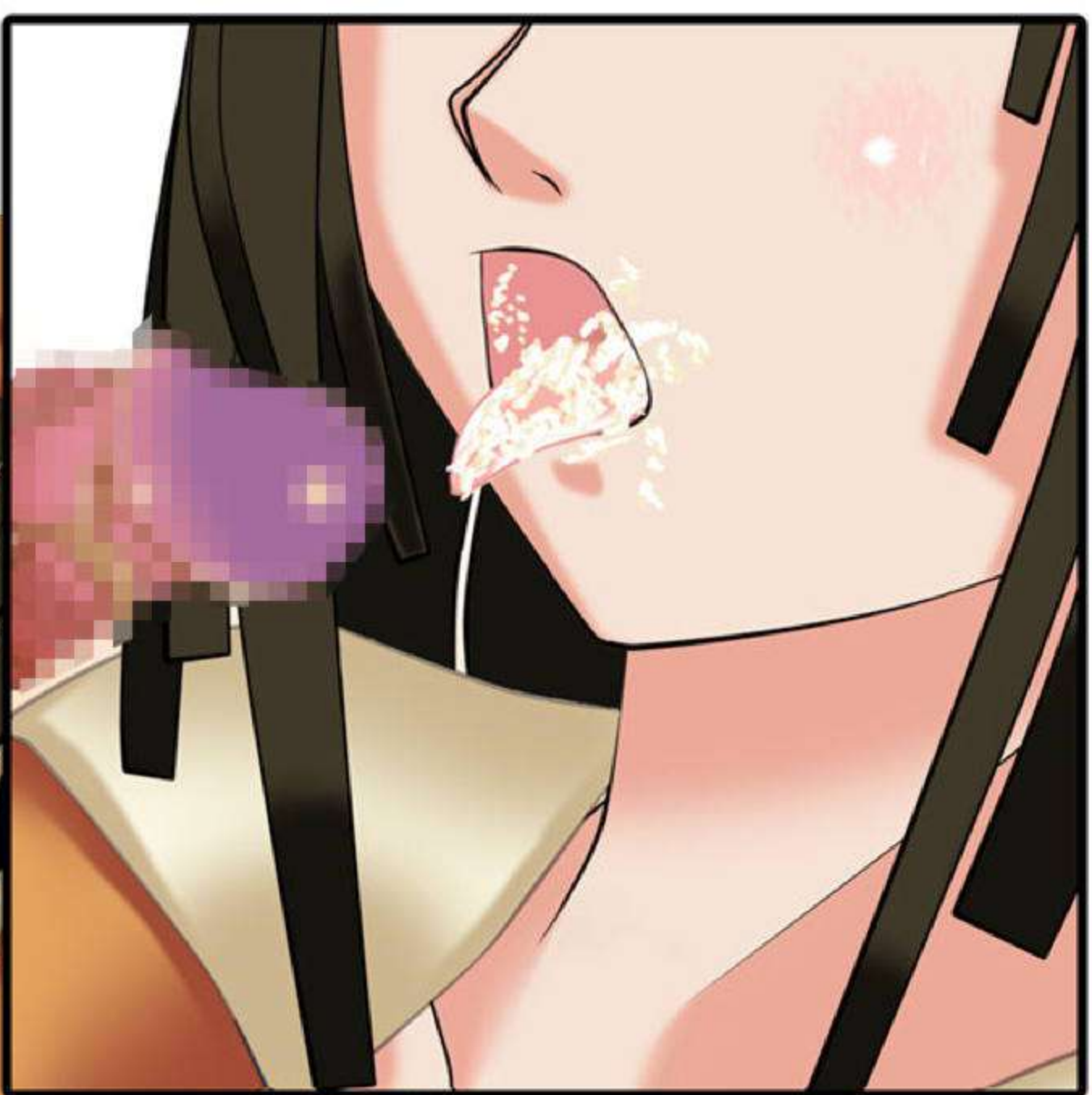


皮、剥きますね……、ね、す、ごい。
チンカスさんがいっぱい……。
スー……ん、ん、スンスン……。

臭いはどこ？

ツンってくる感じは二緒ですけど、でも撫子も慣れたみたいで、
前みたいにキツくはないです。
それじゃ、チンカス掃除、します……。
ちゅ、ちゅるっ……、えれる、れる……、ちゅ、へちよ……。
ぺろ、れる……、じゅ、じゅぶ……。





れ、べる、ちゅ、ちゅるっ……。ん、ちゅっ……。
友達のお兄さんのチンカス掃除、終わりました。
いっぱい取れたです。

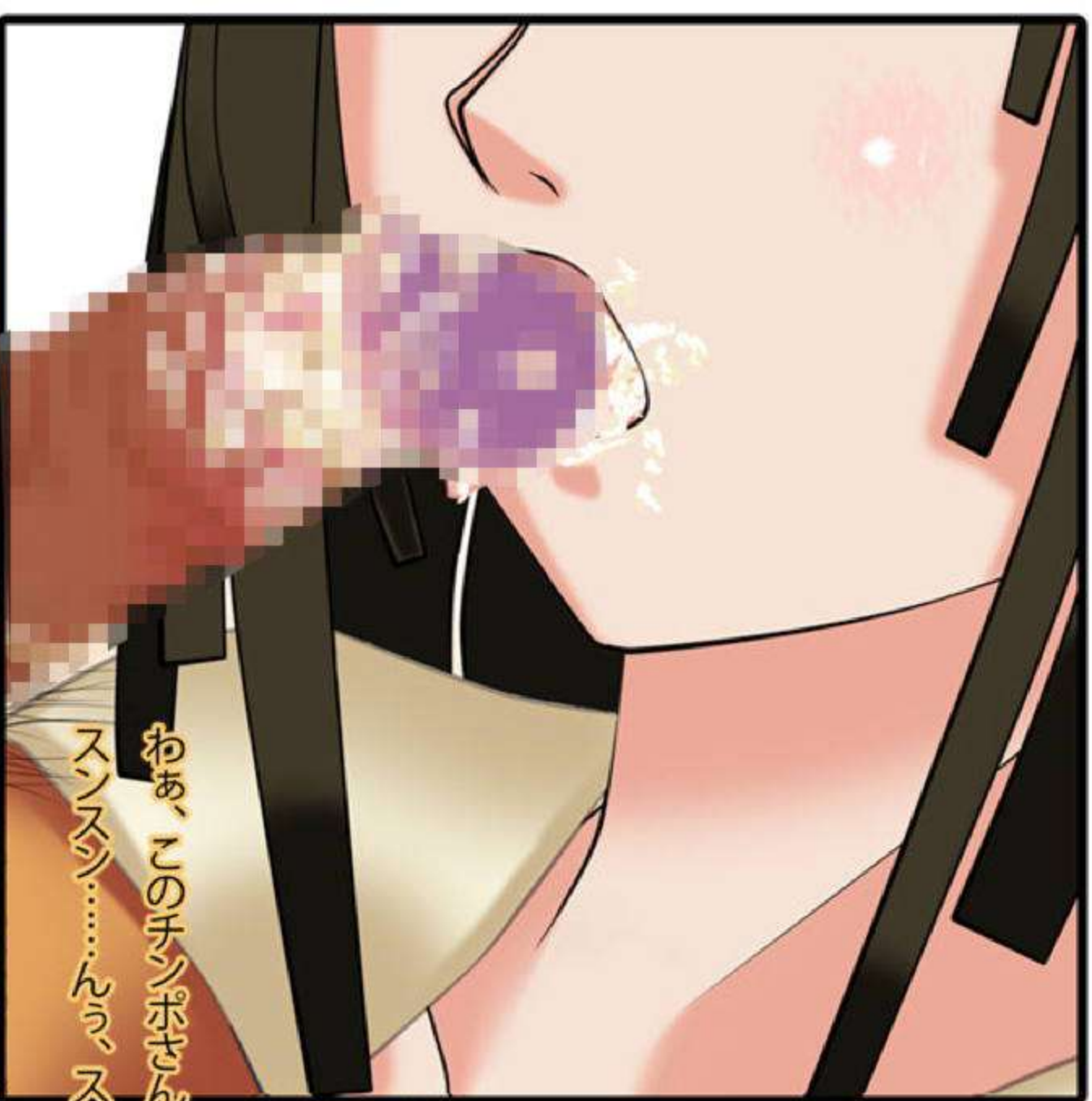
どれどれ、見せてもらん。

はい……。んべあー……。

ほんとだ、チンカスいっぱい取れたね。
そのチンカスは食べないで、どんどんお掃除しちゃおうか。

ふあい……。





わあ、このチンポさんもチンカスいっぱいです。
スンスン……んう、スンスン……。

さっきのチンポと臭い違う？

ス……ハァー……、スッ、スンスン……。

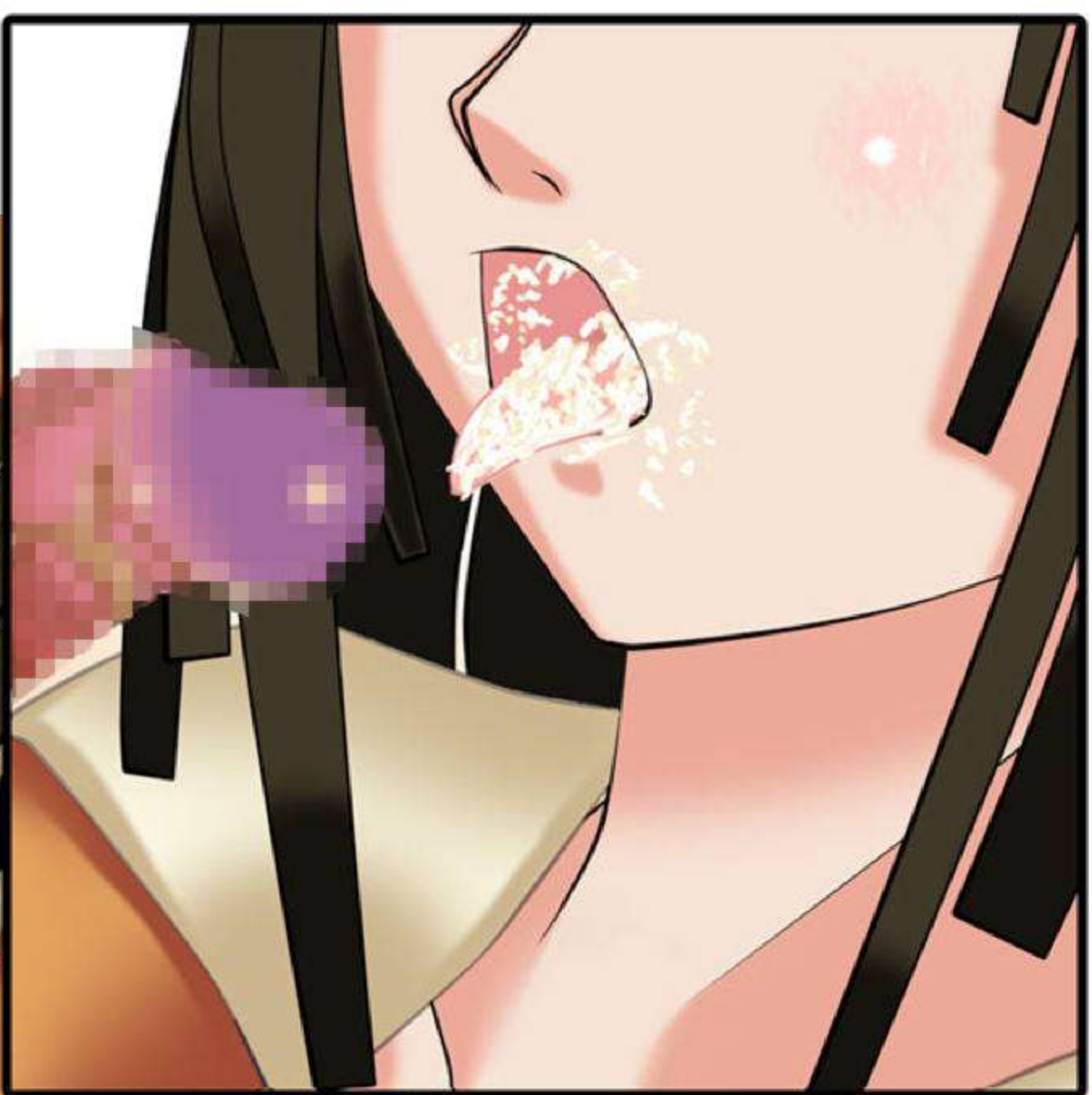
ごめんなさい、撫子のお口が臭くて、あまりよく分からないです。

お口がチンカス臭いのは、撫子ちゃんが変態 学生になった証だからね。
チンポの臭いが分からなくても気にしないでいいよ。
それより、ほら。チンカス掃除待ってるよ。

あ、お待たせしてごめんなさい。

撫子、がんばって友達のお兄さんのチンポを綺麗にしますから、
撫子のお口、もっともっとチンカス臭くしてくださいね。

ん……、れる……、えろお……。



れる、べろお、じゆるう……。ん、ん……。
お掃除、終わりましたです……。
ん……。舌が、ぴりぴりします……。

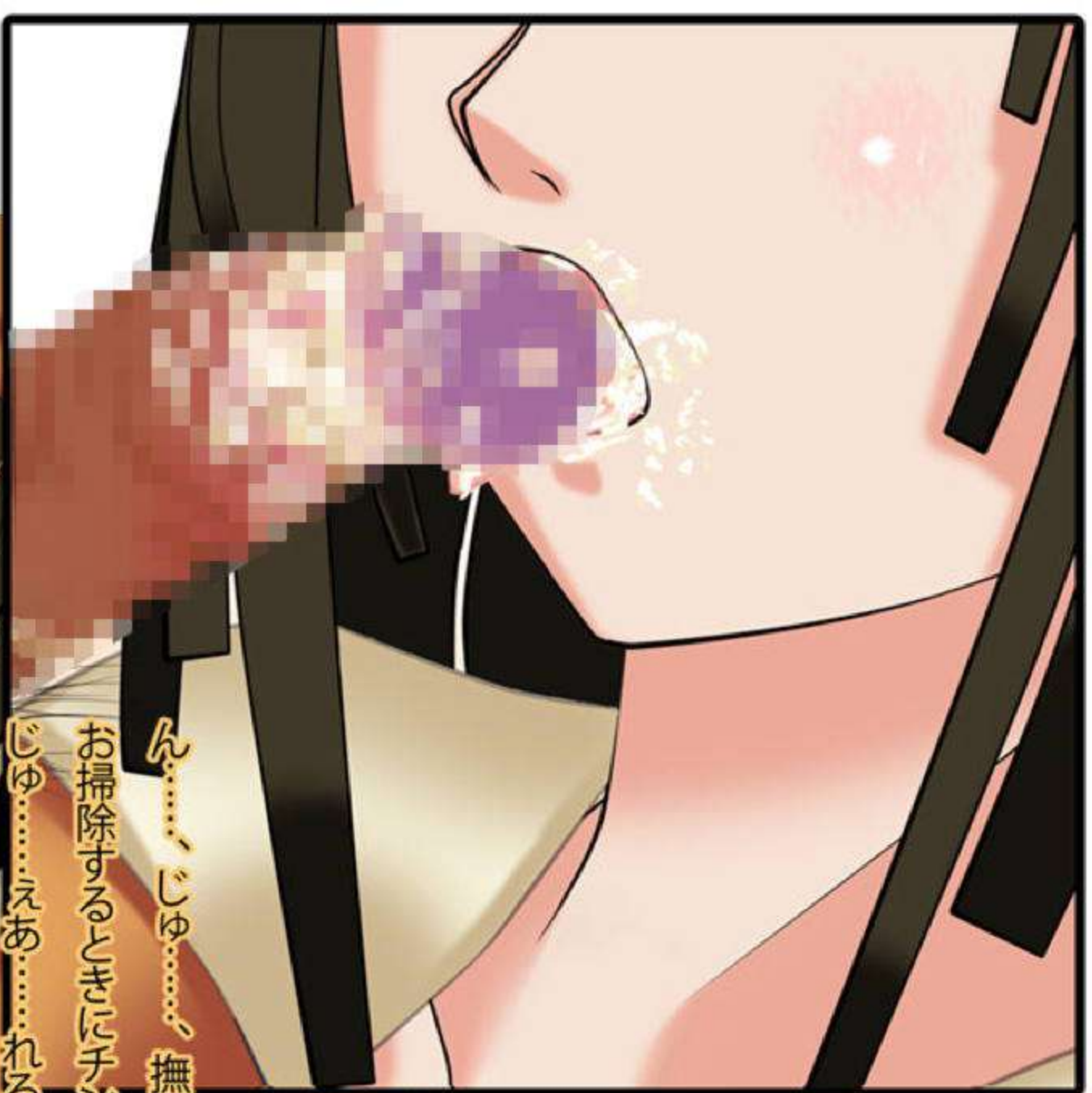
どれくらいチンカス溜まったかな。
見せてみようか。

ん……。んえあー……。

舌がチンカスにおおわれてて、白くなってる。
お口の回りにもごみびりいてるよ。
もう一本、チンポのお掃除してくれる？

あい……。撫子、がんばります……。





ん……、じゅ……、撫子のお口、チンカスでいっぱいだから
お掃除するときにチンポさんをまた汚しちゃいそうです……。

じゅ……えあ……れる……、ぺちよ……れる……、

じゅる、ぺちよ……、えろお……。

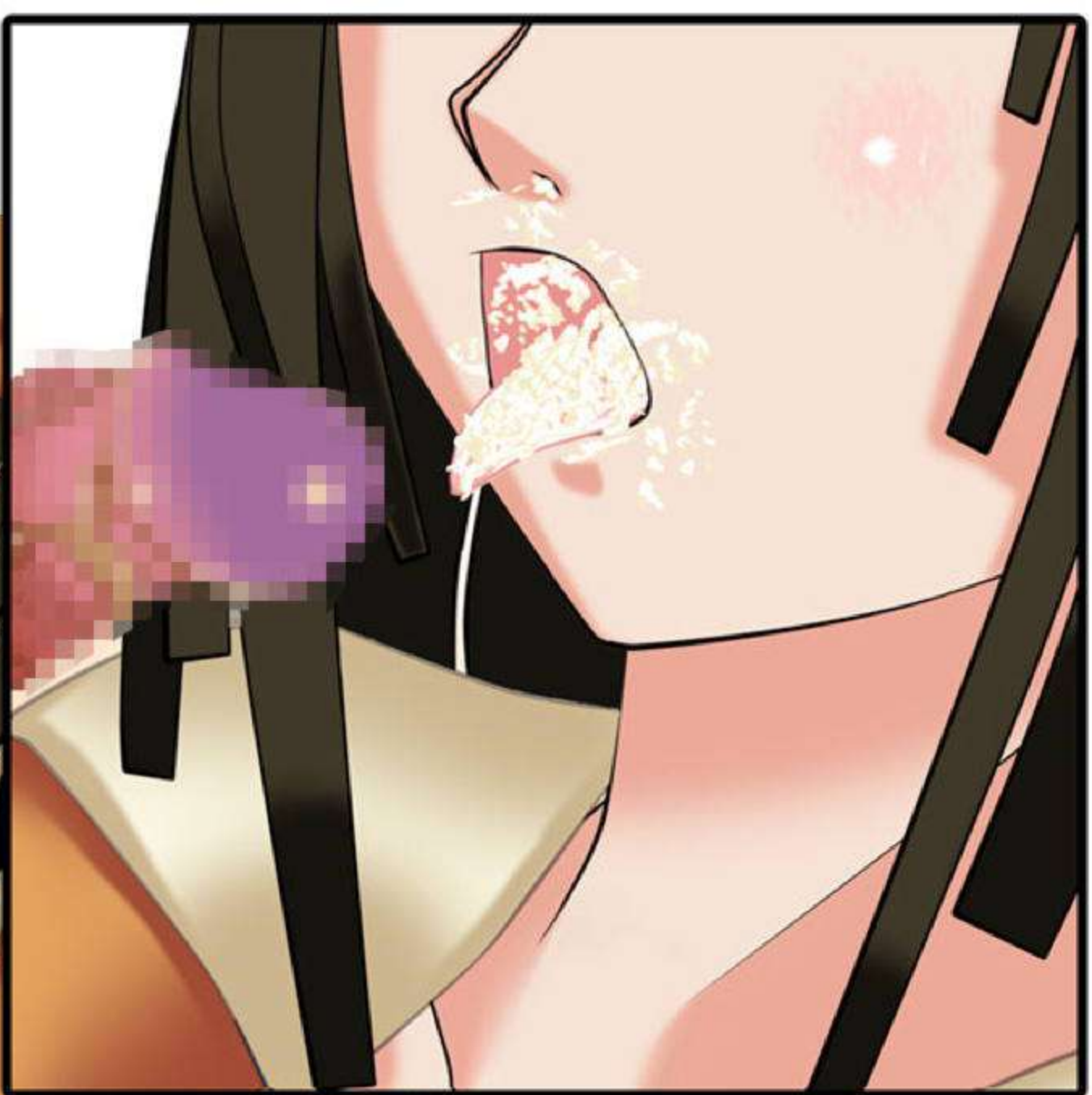
じゅんやうてんからな。

撫子、チンカス掃除が下手でごめんなさい。
んべあ……、じゅ、じゅっ……れる……。

お口の中にそれだけチンカス溜め込んでいれば、
誰だってそうなるって。

撫子ちゃんはじゅっぶん上手だよ。

ありがとう、ごきげいませ……。ねろ、べろ……、じゅ……。
れる、れる……、んじゅん、じゅん……。



じゅ……べろおー……れる……。
ちゅ、ちゅ、じゅ……、じゅろ……。
んん……。

よしよし、お掃除終わったね。

それじゃあ、お口の中に溜め込んだチンカスを見せてみよう。

んう……、あえ……。

うわあ、チンカスでいっぱいだ。

舌の上で盛り上がるくらいになってるよ。

鼻の下にもごびりついて、吐く息も吸う空気も、チンカス臭まみれだね。





お口の中に溜め込んだチンカスを食べようね。
音をたててよく噛んでから飲み込むんだよ。



ぶあー……。
ん、ぢゅ、ぢゅ、ぢゅ、ぢゅ、ぢゅ……。

じゅ、じゅるるる……、ぐちゅ、ぶちゅ……。

じゅ、じゅぶっ……、んあ、うじゅっ……。

お口閉じてるのに、ここまでチンカス臭がたまたまよってくる。
きつと、しばらくの間はチンカス臭いお口のままだね。
さすが変態 学生の撫子ちゃんだよ。

んう……。、ぐちゅ、ぢゅ、ぢゅ……。

じゅ、ぢゅぶっ……。、ぶちゅ、ぶちゅ……。。



チンカスがすっかり唾に溶けたようだね。
ごくごく音をたてながら飲んでいいよ。

ん……。ん……。ん……。うあ……。

じゅ。じゅ。じゅ……。んく。んく……。じゅ。じゅ。

ん。ん。ん……。じゅ。じゅ。じゅ。

チンカスたくさんだったから、何回にも分けないと飲めないんだね。
がんばってチンカス混じりの唾を飲み切るんだよ。

ん。うん……。ぐちゅ……。ごく。ん。ごくん……。

ごく。うぶ。んん。ごく。ん……。ん……。ん……。

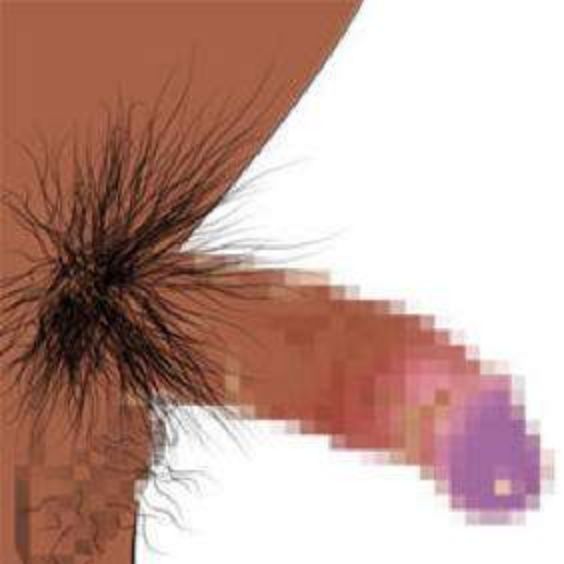
は……。あはあ……。ご。ごちそうさまでした。

撫子に、美味しいチンカスをたくさん食べさせてくれて、

どうもありがとうございます……。う。ぶ。ん……。

お口の中見せるので、ちゃんと食べられたか確認してください。

んべえー……。





それじゃあチンポも綺麗になったことだし、
撫子ちゃんのチンカス臭いお口便器にサーメンを出そうかな。
ほら撫子ちゃん、挨拶しなきゃ。

あ、ごめんなさい。ええと……。

撫子は、精液大好き変態 学生です。

チンカス臭いお口でお兄さんのチンポをおしゃぶりしますから、
撫子をサーメンミルク処理用お口便器にしてください。

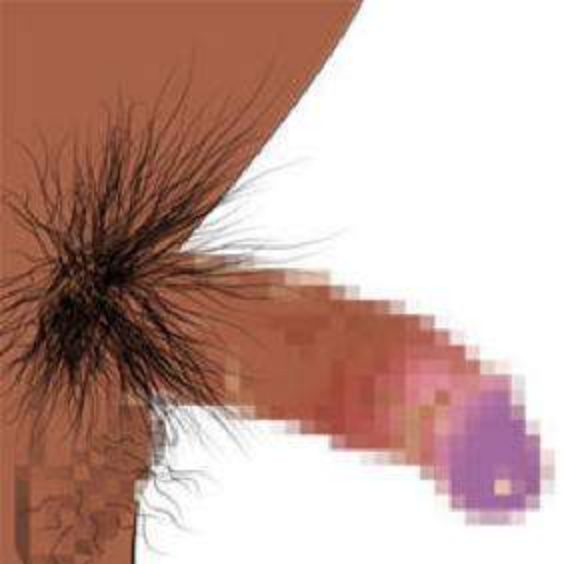
よくできました。

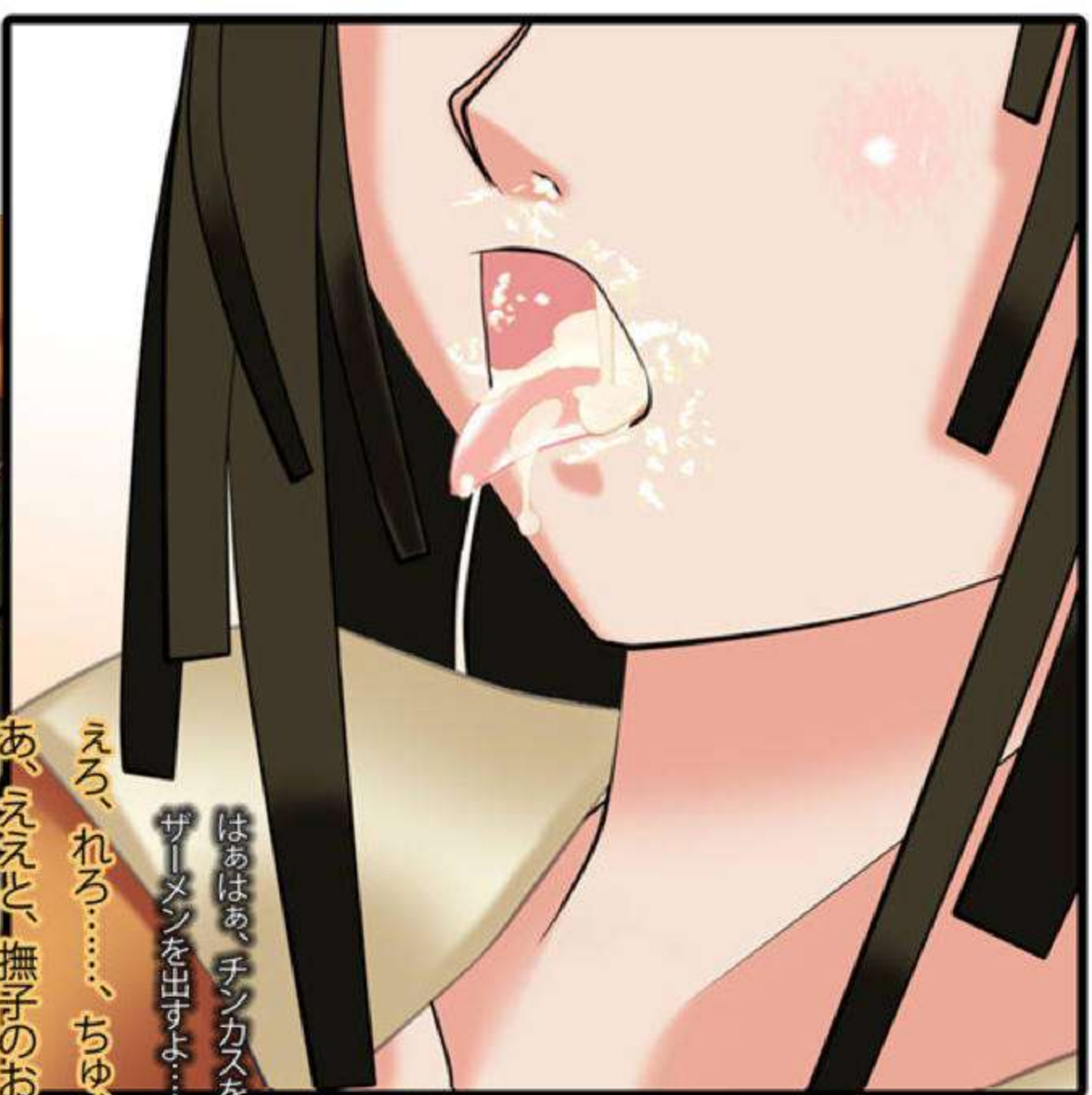
ちよつと大変かもだけど、全部のチンポからサーメンしゃぶり出すんだよ。

はい、撫子、がんばります。

ん……、ちゅ……、べろ、れろ……。

ぺちよ、ちゆる……、えろれろ……、ちゅ、ちゆるっ……。





はあはあ、チンカスを口の周りにつけた。学生にチンポ舐めさせて、
ザーメンを出すよ……、出しちゃうよ……!

えろ、れろ……、ちゆ、ぶちゆ……。

あ、ええと、撫子のお口はザーメンミルク用お口便器ですから、
ザーメンいっぱい出してくださいな……、れろ、ちゆるっ……。

出すよ、チンカス臭いお口便器にザーメン、出す……!
う、うっっ……!

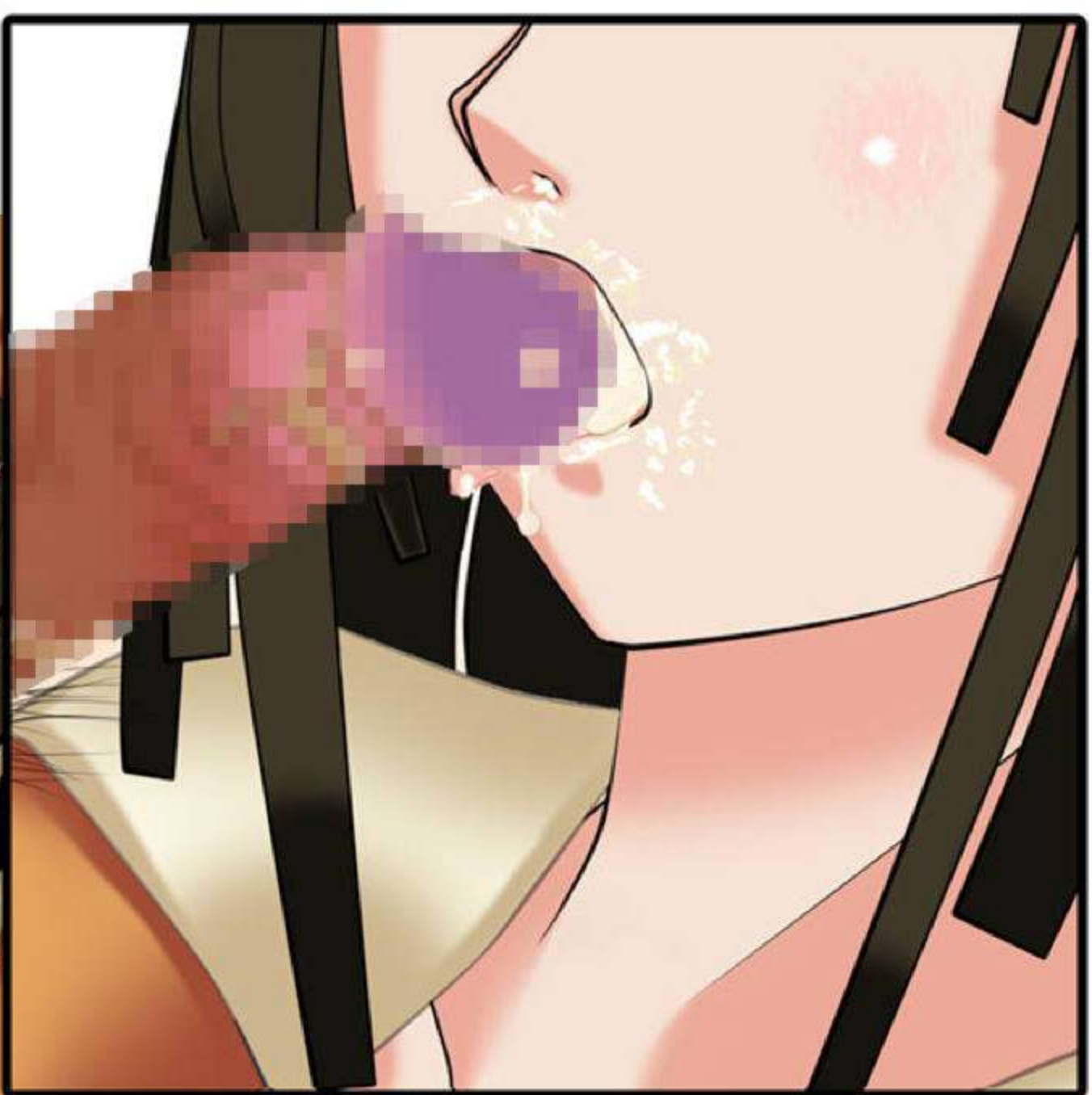
ん……! んん! んう……んっ、んっ……。

……。ちゆ、ちゆうー……、れろお、ぺちよ……。

じゆ、じゆっっ……。

ぶっ……。ザーメンはお口に溜めたままにするんだ。
そのまま、次のチンポをおしゃぶりして。

ん……、あ……。



ほら、甜めて。お口のの中のサーメンをこぼさないように注意してね。

ん……、れる、ちゆるっ……。

じゅぶ、じゅる……、ぶちゅ、ぶちゅ、ぶちゅ……。

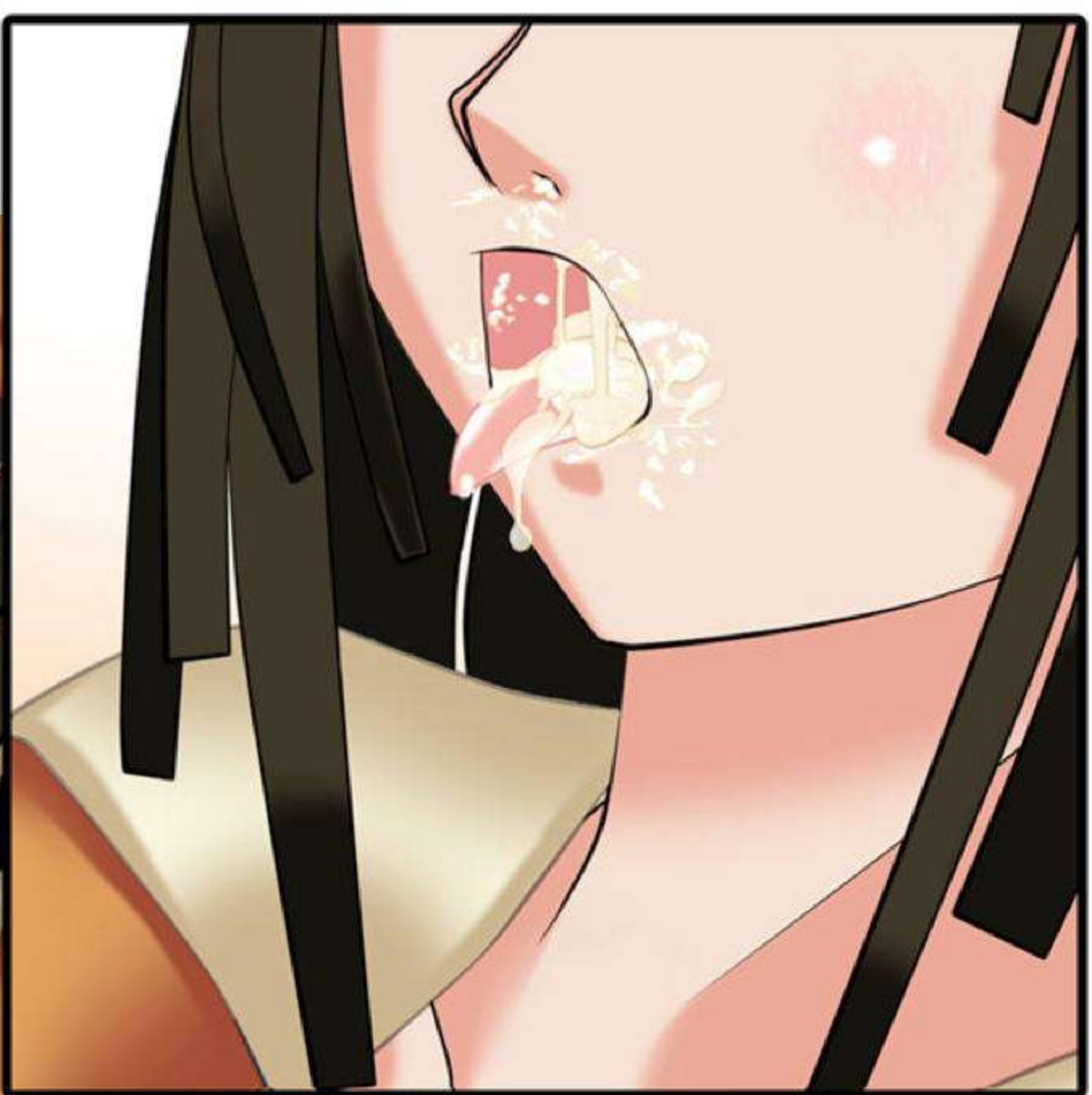
れる、んえろ……、べちゅ、ぶちゅ、ぶちゅ……。

撫子ちゃんチンポしゃぶり上手だね……。
すぐに吐ちやいらった……。

んう……んちゅっ、んちゅっ……。

れるれるお……、じゅぶるっ、ぶちゅ……。

じゅろお、じゅっっ……。

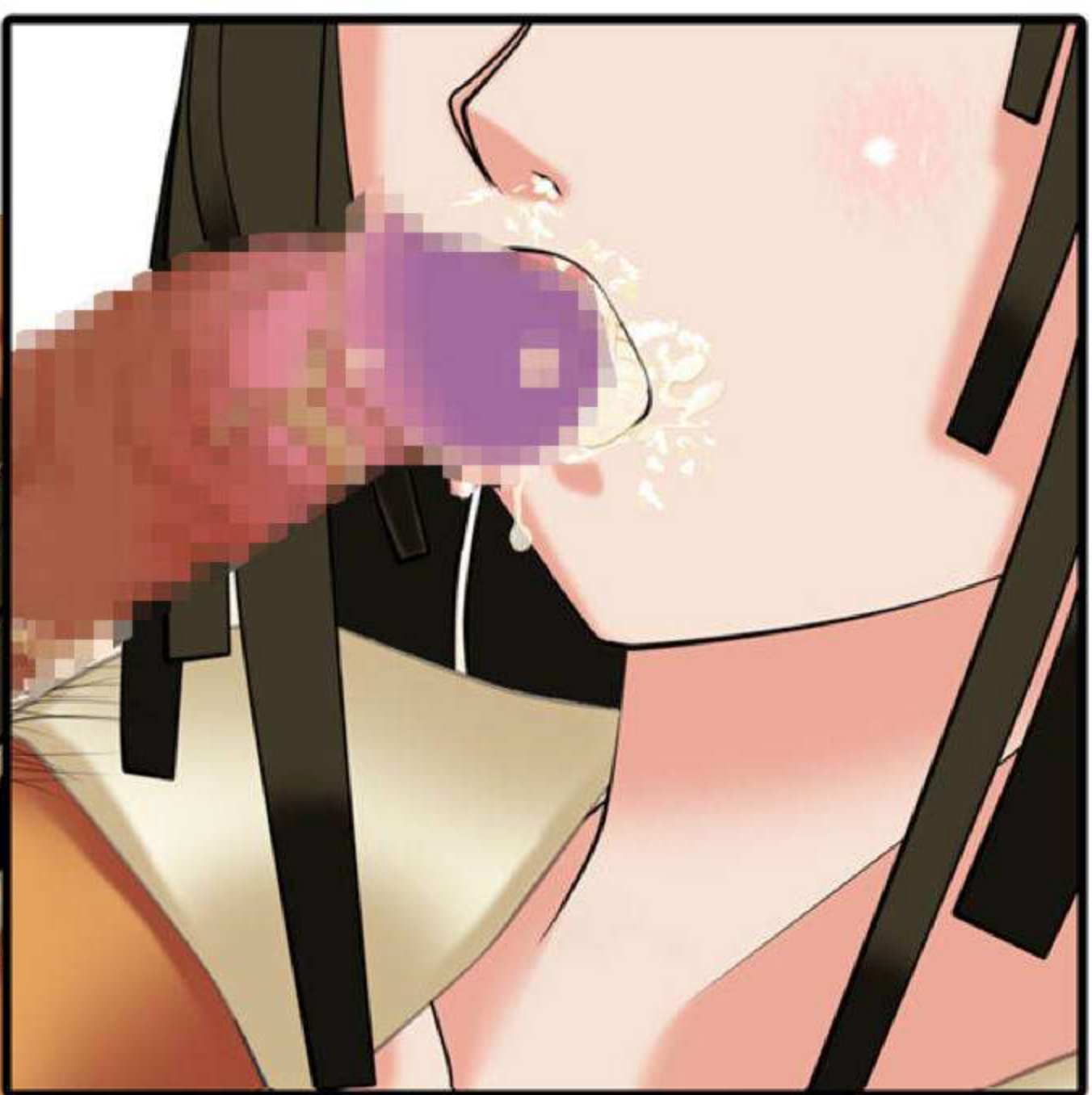


出るよ、ザーメン出るよ……！ お口、あーんっしてるんだ！
ザーメンとチンカスまみれの口開けて！

ん、んあ……。

あ、うあー！ あ……、あ……、ん……んむあ……。

はあ……、ふっ……。ねっとりしたザーメン、お口便器に吐き出したよ。
……まだもう「発分くらいは溜め込られそうだね。」



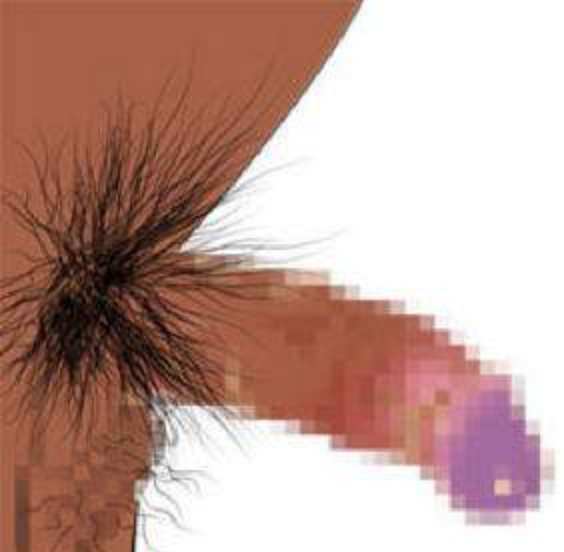
お口も舌も、サーメンでぬるぬるだ。
撫子ちゃんは舌を動かしててくれればいらすよ。
後はごっちで勝手に出すからね。

んあ、んあい……。

れる、ぺろ……、へちよ……、べちよお……。

えろえろ、れおろ……、ちゅぷぷちゅしゅ……。

んねろ……、ねろ、えろえろ……、んぷんぷちゅしゅ……。





はあ、はあ、はあ、はあ……。

う、う、う……。

ん、ん、ん……ん、ん、ん……ん、ん、ん……。

ちゅ、ちゅ、ちゅ……。

ん、ん、ん……。

んあ……、えめ……。

どれくらいお口便器にサーメン溜め込んだか、見てみようか。

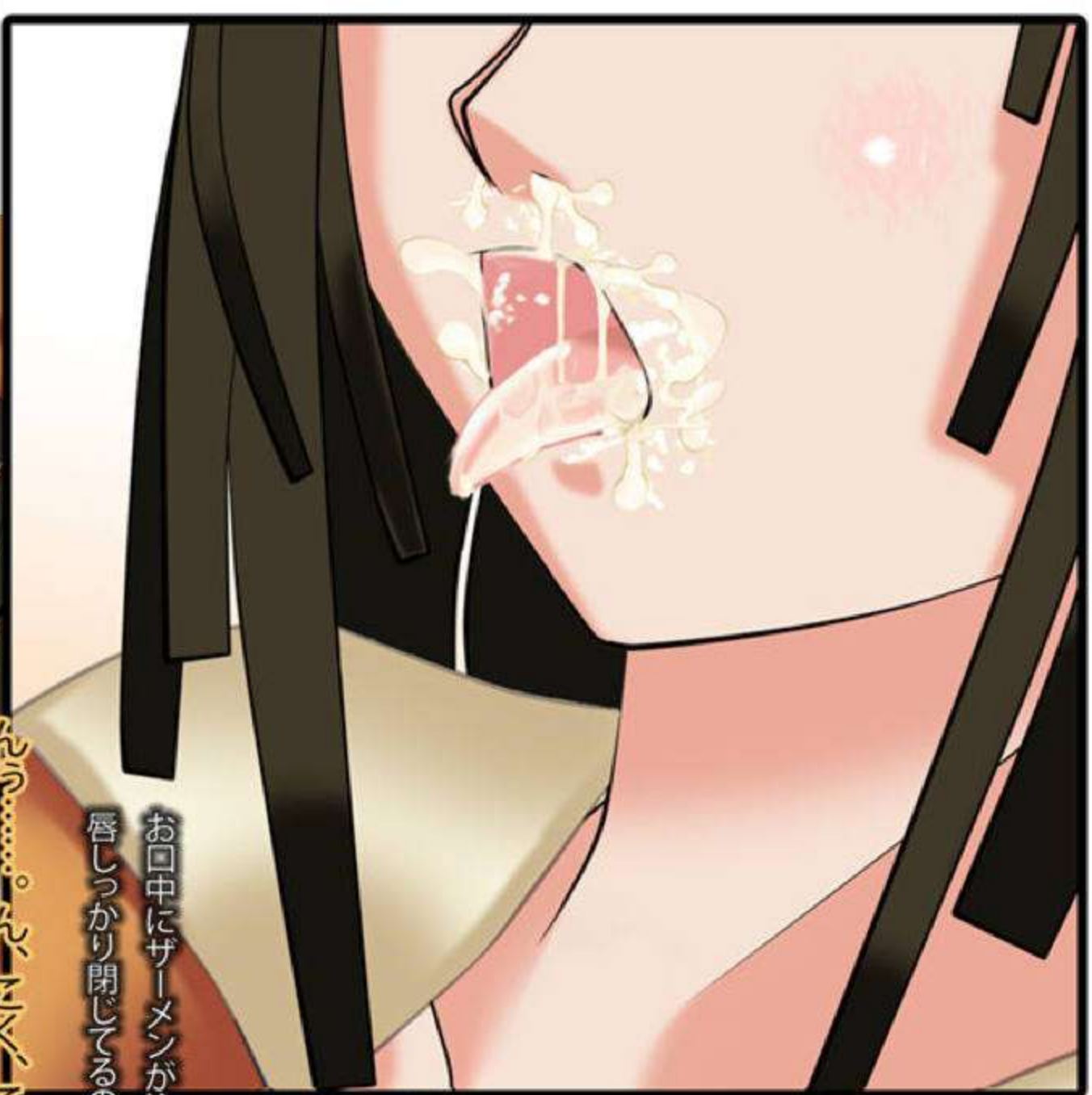
……うわあ、すごい量だよ。

こぼり出したサーメンがちゅちゅお口はらうに溜まってるよ。

舌がふるふる震えるよ、一緒に波打ってるよ。

あ、こぼれそうだよ。すすりあげて、ほら。

んあ……、ん、ん、ん……ん、ん、ん……ん、ん、ん……。



お口中にサーメンが込み渡ったみたいだね。
唇じっかり閉じてるのに中から溢れそうだから、もっぴいぐんぐんしてSSSSよ。

んっ……。ん、ごぐ、ごぐ……。んちゅ、じゅちゅ……。

ぐぐぐぐん……。じゅるる、ちゅる……。んぐ、

ぐぐん、じゅるるるるるる、ん、ん、ぐぐ……。

ごきゅ、んきゅ、んく……。んぐ、んう、ごぐ……。

ん、んあ……。ん、んむ……。……。ん、はああ……。

お兄さんたちの濃くて臭いサーメン、ごちそうさまでした。

撫子、全部飲みましたのでお口の中見てください。

んあえー……。



これだけ離れているのに、サーメン臭が届いているよ。

お口は空っぽなのに、ちよっと開けただけでサーメン臭がしているなんて、

撫子ちゃんは立派なお口便器口だね。

今日はここで終わりにしようか。撫子ちゃん、お疲れ。

あの、このグラスは……？

え？ グラス、ザーメン……？

うん、撫子ちゃんが変態。学生のお口便器になれるように、
これまで訓練してきたよね。

でも、まだザーメンげっぷをしたことないでしょ。

ザーメンを二気に飲めばできるから、

みんなのチンポをたくさんおしゃぶりして、

グラスいっぱいになるまでザーメンを出してもらおうね。

今日は撫子のためにこんなにたくさん、
ありがとうございます、ごめんなさい。
撫子、がんばって二気飲みしますから、
グラスにたくさんザーメン出してくださいね。

ん、ちゅつ、れる……。

ちゅ、ちゅぶつ、れる、んえろ……。

んぶ、ぶちゅ……、れるれる、ぬろお……。

な、撫子ちゃん、おしゃぶりがすいぶん上手い、ね……。
こ、これなら、すぐ出そうだよ……。

んえ……、あ、ありがとっございます、ちゅ、ちゅつ。

臭いザーメン、んちゅ、出してくださいいね……。

んぶう、るろ、れるお……、ちゅつ、ちゅつ……。

あんむ、んむ……、れる……。



ん、ぶ、う、出るよ、サーメン出る……。
撫子ちゃん、グラス用意して、ほら、はやく。

れるお……、れる……、ちゅぶ、ちゅ、ちゅ……。
あ、は、はい……。え、と、これでいいのかな……。
じゅる、じゅろおっ……、ぶちゅ、れる……。

出すよ、撫子ちゃん、口の、サーメン便器に、出る……
う、うっっー！ うー！

ん……、う……、ぶっ……。

じゃ、じゃあ、お口に出したのを、グラスに出して、
そう、でろおーって……。

んえ……、ええあ……、んべえ……。

んん、ええ……。

すいぶん出たけど、まだ溜めないといけないね。
それじゃあ、次のチンポをおしゃぶりしようか。



うん、うん、撫子ちゃんの舌、ぬるぬるで気持ち良い。
おしゃぶりのテクもあるし、これは、すぐに出そうだよ。

ありがほう、びびりましたしゅ……、んちゅ……。

臭いサーメン、たくさん、出してくだひゃいね……。

じゅろおつ……、んちゅちゅ、んちゅちゅ……。

んえあ、んろお……、んちゅ、んちゅ……。

じゅぶ、じゅるし、じゅぶぶぶ……。

れる、ちゅる……、んちゅ……、んちゅじゅ……。

うん、うん、出すよ、たくさん、サーメン出すよ……。
んちゅ、んちゅ……。

ほ、ほら、グラスに、え……って出してみて。

あふあふ……、えんえん……。

よしよし、この調子でとんとんサーメン集めようね……。





んふあ……、うえー……。

んぶ……、えう……。んへえ……。



ぷうぷあ……んええ……。

ぺちよ……んべえ、うあえ……。

ん……、ふ……、んえ……。
うふ……、んふあ……。

グラスいっぱいサーメン溜まったね。
表面がふるふるして、臭いもすごい強いよ。

はあはあ、な、撫子、こんなにたくさんサーメンを、
ぜ、全部飲むんですか？
すごい臭くて、ねとねとで層ができてます……。

撫子ちゃんは、曆お兄ちゃんのために
サーメン大好きな変態 学生になれたんだから、
大丈夫、一気に全部飲んで、サーメンげっぷができるよ。



え、えと、その……。

な、撫子、これからグラスいっぱいのはーめんを、
全部、の、飲ませてもらいます……。

一気に飲んで、ザーメン臭いげっふをするので、

お兄さんたち、撫子のこと見ててください……。

ん……、んごく……、うぐ……、んぐ……。



う……んぷんぷんくくく……。
んぷんぷんぷんぷん……ん……ん……。
ん……ぐん……うぐん……んくくくく……。

うわあ、鼻からサーメン吹き出してるよ。
それでもがんばる撫子ちゃんはずすがだね。
グラスのサーメンがどんどん減っている。
もつちよっとで全部撫子ちゃんの胃の中に落ちるよ。



う……んぷ、んぷ、んぐ……。
ん……、んぐく、ぐく……ん。
ん……、んむ……、じゅるっ……、ん、ん……。

あれだけあったサーメンが、全部なくなっちゃったよ。
さすが撫子ちゃん。

とっても優秀なサーメンミルク処理用お口便器だね。



お兄さんたちの臭いザーメン、全部飲みました……。

ありがとうございます、ごちそうさま。

撫子、お腹いっぱいです……。

なんか、たふたふしてる感じがします……。

う……、んえ、え、ん、げぽっ……。

ザーメンげっぷと一緒にザーメン風船ができたよ！

うはあ、すごい、なかなか割れないよ。

こんな泡ができるくらい濃いザーメンを
お腹にいっぱい飲めてよかったね、撫子ちゃん。

えふあ……、んぽ、う……。

こんにちは、ごめんなさい。

え、えと……、

撫子は、精液大好き変態 学生なんです。

お兄さんのチンポから出る白くて臭いミルクを

お腹いっぱいになるまでごくごく飲ませてくださいね。



撫子、こつやつて受け止めますから、
撫子のザーメンミルク処理用お口便器に
ザーメンたくさん捨てていってくださいね。
よろしくお願いします。





ん、えふっ、んふあ……。
最初からすごい量です……。



んむ、うえつ、んあ……。
んえ……、うえ……。



おはようございます……、おはようございます……。
うん……、んへあ……。



うん……、うふ……、おふ……。
臭いザーメン、た、たくひゃん溜まりました……。
どうもありが、とう、ございま、ふ……。
ずるずるのチンプミルク、飲ませてもらいますね……。



し……… じただだきおか………。
ん……… けいけい……… けいけい……… けいけい………。
ん……… けいけい……… けいけい……… けいけい……… けいけい………。
ん……… けいけい……… けいけい……… けいけい……… けいけい……… けいけい………。
ん……… けいけい……… けいけい……… けいけい……… けいけい……… けいけい……… けいけい………。
ん……… けいけい……… けいけい……… けいけい……… けいけい……… けいけい……… けいけい……… けいけい………。



ちゅ、ちゅるっ……、んん……、はあ……あ……。

ん、ごちそうさまでした……。

お兄さんたちのザーメンミルク、苦くて臭くて、とても美味しかったです。
撫子、たくさん飲んでお腹がたふたふしています……。

精液処理用お口便所の撫子にザーメンたくさん捨ててくれて、
どうもありがとうございました。

ん、うぷっ、けぷっ……。